

業 務 概 要

－令和5年度のまとめ－

項 目		頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組	5
	海外若手研究員受入事業	5
	京都学デジタル資料閲覧	5
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	8
5	大・小ホール、学習室について	22
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	23
7	館蔵資料等の撮影と複写	30
8	資料の貸与	31
9	図書館間相互貸出	36
10	共催事業等	36
11	資料の収集・整理・保存	40
	図書資料	40
	行政文書	45
	文書の保存と複製資料の作成	46
	管理委託現物資料	47
12	調査	47
	行政文書	47
13	京都府行政文書修理事業	47
14	図書館実習・インターンシップ	48
15	新聞掲載等	48
16	ウェブ提供サービスのまとめ	49
17	施設の状況	53
18	組織・職員数・業務分担・予算	53
19	令和5年度の主な活動	55
20	沿革	58
	参考資料	64

1 京都学・歴彩館について

○「京都学・歴彩館」とは

「京都学・歴彩館」は府民に京都の文化、歴史等に関する学習及び交流の場を提供するとともに、京都に関する資料等を収集して、保存し、さらに公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため設置された。京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学ととらえ、これを推進・発信することで京都文化のさらなる発展を目指すことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ち続け、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

○京都学・歴彩館の建物について

建物は、京都府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっている。1階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、にぎわいと交流が生まれることを期待している。2階は探究フロアとして京都に関する各種資料や大学所蔵資料が閲覧できるよう約350席を設けた閲覧室があり、3・4階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室にある図書資料は約2万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や、京都府、府内市町村が発行した資料等を並べているほか、1階展示室で行う展示に関する「資料紹介コーナー」を設けるなど、館全体で一体となって交流・探究の場を提供している。

○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の役割は三つあり、まず旧総合資料館でも行っていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料等約88万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。二つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。三つ目は海外の研究者を招へいし、京都文化を研究してもらうこと。この三点を柱として交流・探究を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

平成28年12月に一部オープンしてから多くのイベントを開催しており、令和5年度においては、コロナ禍にあって、「京都を学ぶセミナー」をはじめとする計96回の各種主催講座を実施し、延べ約6,500人の参加を得た。

また、令和2年度から一部指定管理者制度を導入しており、指定管理者主催・当館共催に

よる講座・展示等の事業も実施している。

これからも京都学・歴彩館の場所・人・資料などの資源を用いて府民の方へ様々な形で発信していきたい。そして、府民の皆さんが資料を手に取り、研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来る拠点としていきたいと考えている。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

（１）利用者等の状況

○1階（交流フロア）、2階（探究フロア）の利用者数等について

※開館時間の短縮及び利用人数の制限を実施

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	10,289人	出納件数	9,102件
京都学ラウンジ	5,152人	書庫の図書資料	8,113件
学習室	54,793人	古文書等	412件
大ホール	21,186人	行政文書	543件
小ホール	12,373人	写真資料	0件
2階 探究フロア （府立大附属図書館含む）	112,850人	近代文学資料	34件
その他	2,560人	相談件数	9,065件
合計	219,203人	資料の使用 （管理委託現物資料含む）	42件 280点
		資料の利用 （管理委託現物資料含む）	124件 334件
		資料の複写	7,256件 130,533枚
		資料の館外貸与 （管理委託現物資料含む）	43件 481点（冊）
開館日数	329日 ※2階：325日		
一日平均利用者数	666人		

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		令和5年度受払状況							累計 (令和6年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料	763	1,679	1,320	—	3,762	28	3,734	415,129冊
	その他※1	—	—	—	—	—			1,728点
	小 計	763	1,679	1,320	—	3,762	28	3,734	416,857(点)
文書資料	古文書	—	3	—	—	3	—	3	144,754点
	行政文書	—	—	—	1,362	1,362	—	1,362	103,205点
	写真資料	—	—	—	—	—	—	—	134,094点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	26,881点
	その他	—	—	—	—	—	—	—	256点
	小 計	0	3	0	1,362	1,365	—	1,365	409,190点
※2 管理委託 現物資料	美術工芸資料	—	51	—	—	51	—	51	11,684点
	歴史民俗資料	—	3	—	—	3	—	3	20,074点
	その他※3	—	—	—	—	—	—	—	23,692点
	小 計	0	54	0	0	54		54	55,450点
合 計		763	1,736	1,320	1,362	5,181	28	5,153	881,497冊(点)

※1 版木ほか。

※2 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて収蔵)。

※3 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

上記に加え、京都関係パンフレット191冊をKパンフレットとして簡易整理し、総数3,131冊を「京の記憶アーカイブ」京都関係雑誌記事論文と共に検索できるようにしました。

3 京都学研究推進の主な取組

(1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦された優秀な外国人若手研究者を選考の上、「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（令和5年度）

氏名（敬称略）	国・地域	専 門	研究テーマ	受入期間
クリオ・シモ ネッタ	イタリア	日本古代史、 軍事史	『日本の古代の駅制』	令和5年 9月19日～ 令和6年 2月2日
エミリー・ウ オレン	アメリカ	日本前近代 歴史、平安期 ～鎌倉期の 食文化史	『東寺百合文書と古記録の食文 化』	令和5年 9月19日～ 令和6年 1月31日

(2) 京都学デジタル資料閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

また、賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開に関する覚書を令和3年5月13日に賀茂別雷神社と締結し、緊急事態宣言解除後の同年6月1日から試行的に一部資料（985点、3,556コマ）の閲覧供用を開始しました。

デジタル閲覧資料について、その後も、追加登録作業を行っており、現在、約6万コマの閲覧が可能です。

令和5年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	132 人
閲覧利用資料数	20,125 件
閲覧ページ数	22,509 ページ

(備考：令和5年4月1日～令和6年3月31日実績)

(3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴史館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一段階の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに研究会を発足し、共同研究に取り組みました。その後、引き続き府内各地域の文化資源を掘り起こし、その魅力を紹介する共同研究を推進しています。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

令和5年度においては、『京都を学ぶ【宇治編】』（令和4年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【宇治編】」を開催するとともに、「丹後の文化資源」共同研究会（令和4年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【丹後編】』を令和6年3月に刊行しました。また、新たに「洛南の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

宇治の文化資源共同研究参加メンバー（令和3～5年度）

(五十音順 敬称略 肩書は令和3年度時 テーマは研究報告書タイトル)

家塚 智子	宇治市源氏物語ミュージアム 館長
	宇治を描く—歌枕から名所図へ—
上杉 和央	京都府立大学文学部 准教授
	近世宇治郷を描いた絵図の系譜
清水 重敦	京都工芸繊維大学工芸科学部 教授
	宇治小倉の茶業景観
杉本 宏	京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 教授・主任研究員
	平安期宇治別業群とその文化資源性
藤井 孝夫	京都先端科学大学バイオ環境学部 特任教授
	宇治茶の岐路—品質至上主義か大量生産指向か—

森 正美	京都文教大学総合社会学部 教授
	宇治のまちの文化資源の持続性 —コロナ禍における地域行事から考える—
川口 成人	京都府立京都学・歴彩館
	中世後期宇治田原地域の戦乱と在地勢力
中西 大輔	京都府立京都学・歴彩館
	巨椋神社本殿の建築

丹後の文化資源共同研究参加メンバー（令和４～６年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和４年度時 テーマは研究報告書タイトル）

河原 典史	立命館大学文学部 教授
	丹後・伊根浦における舟屋集落の変遷—海を見せる・魅せる意味—
高野 陽子	京都府埋蔵文化財調査研究センター
	丹後の弥生王墓と遠隔地地域間交流
高橋 克壽	花園大学文学部 教授
	日本海三大古墳が丹後に築かれた意味
菱田 哲郎	京都府立大学文学部 教授
	祭祀遺跡から神社へ—古代丹後の信仰を遺跡から考える—
町田 香	京都芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター 研究員
	丹後地域の日本庭園に関する基礎調査
山田 徹	同志社大学文学部 准教授
	室町期丹後国荘郷・領主研究序説—「丹後国惣田数帳」の基礎的考察—
松浦 智博	京都府立京都学・歴彩館
	丹後田辺藩京都留守居の職務
吉岡 直人 林 奈緒子	京都府立京都学・歴彩館
	『丹後国分寺再興縁起』の研究

洛南の文化資源共同研究参加メンバー（令和５～７年度）

（五十音順 敬称略 肩書は令和５年度時 テーマは契約時のもの）

小池 寛	京都府埋蔵文化財調査研究センター
	考古学からみた洛南地域の地域間交流と交易
中谷 正和	京都市埋蔵文化財研究所
	桂川下流域の地形変化と遺跡形成
東 昇	京都府立大学文学部 教授
	近世における洛南京郊村落の生活

平井 俊行	八幡市立松花堂庭園・美術館
	明治における昭乗ゆかりの松花堂の変遷について
藤本 仁文 竹中友里代	京都府立大学文学部 准教授 京都府立大学文学部 特任講師
	幕末・維新时期における石清水八幡宮の境内変化 —神仏分離に注目して—
吉永 隆記	京都精華大学国際文化学部 特任講師
	洛南における久我家領の変容と地域社会
杉本 弘幸	京都府立京都学・歴彩館
	男子普通選挙をめぐる政治文化の形成と変容—洛南地域を中心に—
林 奈緒子	京都府立京都学・歴彩館
	江戸時代前期朝廷における石清水放生会の位置 —『新院御所日記』からの検討—

4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

◆ 展示

○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
令和5年 4月15日(土)～ 6月11日(日) (4/29、5/3～ 5、10は休館) [開場日数 53 日]	令和5年度春季企画展「THE京都学—集める・の こす・伝える」 ・展示品：50点 ・附帯事業：館内シールラリー「探検！歴彩 館」、バックヤードツアー ・概要：当館は、京都に関する資料等を収集・保 存し、公開するとともに京都の歴史・文化に関 する研究支援や学習・交流の機能を有する。 本企画展では、こうした歴彩館の業務内容や所 蔵資料の特徴、さらに京都学推進のための活動 等をわかりやすく伝えることとし、この展示を 通じて、歴彩館の利用促進と京都への理解の深 化を図った。	1 階 展示室	<u>1,271人</u> (24人/日) 館内シールラ リー：326枚 配布 バックヤード ツアー 4/22:16人 5/21:20人
令和5年 7月15日(土)～ 9月10日(日)	「令和5年度京都府ミュージアムフォーラム合 同展覧会—府内まると博物館大集合！—新 時代の京都展—New World—」		<u>2,805人</u> (52人/日)

(7/17、8/9、 11、15 は休館) [開場日数 54 日]	・ 共催: 京都府ミュージアムフォーラム ・ 展示品: 58点 ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 丹後地域から山城地域までの京都府ミュージアムフォーラム加盟館の所蔵品でたどる展覧会。 本展では、「新時代」をテーマに京都府を切り拓いた文化・芸術・スポーツや産業・技術、人等に着目した資料の展示を通じて、新時代の幕開けを演出する。	ギャラリー トーク 8/3: 12人 8/17: 6人 8/24: 13人 8/29: 22人
令和 5 年 9 月 16 日(土) ~ 11 月 5 日(日) (9/18、23、10/9、 11、11/3 は休館) [開場日数 46 日]	「伊藤裕司・竹中浩展 色の美」 ・ 展示品: 59点 ・ 附帯事業: ギャラリートーク ・ 概要: 京都府が作品の寄贈を受けたことを記念し、伊藤裕司と竹中浩の色を強く意識した二人の美意識の世界を紹介。 漆芸家伊藤裕司は、彩漆を主たる技法とし、上品で独特の趣きを漂わせた色調で、独特の風情を持った彩漆の世界を展開している。 陶芸家竹中浩は、白磁や青白磁をはじめ、染付、鉄絵、色絵を手掛け、器形にあわせた白い色を大切にしていることがうかがえる作品を制作している。	<u>1,820人</u> (40人/日) ギャラリー トーク 9/28: 19人 10/5: 35人 10/19: 12人
令和 5 年 11 月 11 日(土) ~12 月 10 日 (日) (11/23 は休館) [開場日数 30 日]	「下鴨小学校所蔵美術品展」 ・ 共催: 下鴨風土記研究会 ・ 展示品: 47点 ・ 附帯事業: シンポジウム ・ 概要: 令和元年に下鴨風土記研究会が調査を終えた下鴨小学校所蔵の美術品等を集めた展覧会。 本展では、これまで学校関係者でも一堂に会して見るができなかった美術工芸品を一堂に展示。下鴨小学校が地域とともに歩み、卒業生との絆を育んだ事例を通して、地域と文化資源の関係を考える。	<u>1,150人</u> (38人/日) シンポジウム 12/9: 149人

令和5年 12月16日(土)～ 令和6年 1月7日(日) (12/28～R6.1/4 は休館) [開場日数 15 日]	「第6回府大生∞歴彩館コラボで探る京都学ー 京都府立大学の学生・大学院生が企画した歴彩 館所蔵古典籍・資料展ー」 ・ 附帯事業: 学生による成果報告会 (歴史学 科)、展示解説 (歴史学科) ・ 概要: 文学部の各学科が、それぞれの特色を 活かしたテーマで歴彩館資料を展示。 日本・中国文学科「浮世草子とその周辺」 和食文化学科「京都の醤油醸造業」 欧米言語文化学科「ジャポニズムの根源ー欧米 から見た京都の文人たちー」 歴史学科「日本文化史研究」成果発表 (「京のおしごと」、「京の人形屋いまむかし」、 「京の法衣商ー千切屋の繁栄ー」、「京都の近 代化と百貨店」) ・ 展示解説集を配布。	<u>584人</u> (39人/日) 学生による 成果報告会 (歴史学科) : 29人 展示解説 (歴史学科) : 35人
令和6年 1月13日(土) ～3月10日(日) (2/11～2/16、 2/23は休館) [開場日 51 日]	冬季特別展「東寺百合文書で古文書解説! 鎌 倉・室町・戦国時代～中世文書、はじめの一步」 ・ 展示品: 61点 ・ 附帯事業: 関連講演会 ・ 概要: 国宝・東寺百合文書を中心とする古文 書原本を使って、中世文書を読むためのわかり やすい手がかりを示す展覧会。 普段は馴染みのない、鎌倉・室町・戦国時代の 文書を、観覧者自身が読むことで「なるほど、 わかった!」という感覚をもってもらうほか、 古文書の翻刻文を収録した解説集を配布して 中世文書の読み方や表現を楽しく学ぶ。	<u>1,970人</u> (39人/日) 関連講演会 2/3: 205人
令和6年 3月16日(土) ～4月7日(日) (3/20は休館) [開場日 22 日]	「西山卯三と昭和のすまい・まちづくり展」 ・ 主催: NPO法人 西山卯三記念すまいまちづく り文庫 ・ 展示品: 73点、パネル27枚 ・ 附帯事業: シンポジウム、ギャラリートーク ・ 概要: 西山卯三記念すまい・まちづくり文庫 からの資料寄贈記念として行った西山卯三記 念すまい・まちづくり文庫との共催展示。西山	<u>1,287人</u> (59人/日) シンポジウ ム: 295人 ギャラリー トーク 3/16: 3人 3/23: 8人

	が関わった図書や描いたスケッチを展示したほか、パネルで業績の紹介、撮影写真を展示した。		3/30 : 14人
合計			10,887人

○ 常設展等

・1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
令和5年2月8日(水) ～令和5年6月14日(水)	光庭2	岩木幹雄「この娘のものがたり 花・いきもの そしてすべてに愛を」
令和5年6月14日(水) ～令和5年10月11日(水)	光庭2	柏木みどり「海辺」
令和5年10月11日(水) ～令和6年2月14日(水)	光庭2	北波紀子「生きものたち」
令和6年2月14日(水) ～令和6年6月12日(水)	光庭2	小牧徳満「境界」

・1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	協 力
令和5年3月15日(水) ～5月9日(火)	府大生による…探検！発見！歴彩 館－コラボで探る京都学－ (8)	京都府立大学文学部 歴史学科
令和5年5月11日(木) ～6月30日(金)	京都府の文化財 ～令和4年度府指 定・登録文化財～	京都府文化財保護課
令和5年7月1日(土) ～7月31日(月)	府大生による…探検！発見！歴彩 館－コラボで探る京都学－ (9)	京都府立大学文学部 歴史学科
令和5年8月1日(火) ～8月31日(木)	京都の伝統産業 西陣織の技と美 (2)	西陣織工業組合
令和5年9月1日(金) ～9月29日(金)	府立大学 A C T R (地域貢献型特別 研究) 研究成果パネル展	京都府立大学京都地 域未来創造センター
令和5年9月30日(土) ～10月31日(火)	発掘された京都の歴史 2023	京都府埋蔵文化財調 査研究センター

令和5年11月1日(水) ～11月30日(木)	京都府立植物園開園 100 周年に向けて	京都府立植物園
令和5年12月1日(金) ～令和6年1月18日(木)	京都の祭り・行事パネル展	京都市文化財保護課
令和6年1月19日(金) ～3月14日(木)	日本近代化の躍動を体感できるまち 舞鶴	舞鶴市
令和6年3月15日(金) ～3月25日(月)	第 12 回子ども読書本のしおりコンテストの作品展	京都府教育委員会 京都府図書館等連絡協議会
令和6年3月26日(火) ～5月7日(火)	府大生による…探検！発見！歴彩館－コラボで探る京都学－ (10)	京都府立大学文学部 歴史学科

・ 2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
令和5年6月15日(木) ～8月8日(火)	海の京都
令和5年10月18日(水) ～10月31日(火)	宇治茶
令和5年11月9日(木) ～12月12日(火)	日日是京都
令和6年2月13日(月) ～5月7日(火)	『源氏物語』登場人物人気投票
令和6年3月15日(金) ～3月25日(月)	「第12回子ども読書本のしおりコンテストの作品展」 (主催：京都府教育委員会・京都府図書館等連絡協議会) ※京都学ラウンジと2ヵ所で開催

◆ 講座

○ 京都を学ぶセミナー「宇治編」

「宇治の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【宇治編】」を開催しました。

年月日	内 容・講 師（敬称略）	参加者数
令和5年 5月23日（火）	＜第1回＞ 講演 京都芸術大学客員教授 杉本 宏 「平安時代の藤原氏別業と宇治のまち」	221 人 大ホール
令和5年 6月27日（火）	＜第2回＞ 講演 宇治市源氏物語ミュージアム館長 家塚 智子 「宇治を描く—『源氏物語』・歌枕・名所図—」	316人 大ホール
令和5年 8月29日（火）	＜第3回＞ 講演 京都府立大学准教授 上杉 和央 「宇治郷総絵図」の描く18世紀の宇治」	185 人 大ホール
令和5年 9月20日（水）	＜第4回＞ 講演 京都工芸繊維大学教授 清水 重敦 「中宇治の町と町家」	164 人 大ホール
令和5年 10月25日（水）	＜第5回＞ 講演 京都先端科学大学特任教授 藤井 孝夫 「宇治茶を巡る三つの元素の物語」	143 人 大ホール
令和5年 11月29日（水）	＜第6回＞ 講演 京都文教大学学長 森 正美 「伝統のリレー—コロナ禍と宇治の地域民俗行事—」	127 人 大ホール

○ 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内容・発表者（敬称略）	参加者数
令和6年 1月25日（木）	海外若手研究員による府民向けセミナー 発表 クリオ・シモネッタ 「古代における国家の成立と駅制・駅馬」 エミリー・ウォレン 「東寺百合文書にみる中世寺院の食文化」	62 人 小ホール

○ 国際研究集会

科学研究費・基盤研究（A）「東アジアにおける工匠関連史料にもとづく建築生産史の再構築と技術蓄積・伝播の解明」（研究代表者：海野聡〔東京大学大学院工学系研究科准教授〕）、東京大学史料編纂所「天皇家・公家の「知」の体系としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト、東京大学史料編纂所・2023年度一般共同研究「「中井家文書」の建築指図と帳簿類の総合研究」（共同所外研究代表者：海野聡）、公益財団法人松井角平記念財団2022年度研究助成「「中井家文書」を中心とする近世工匠史料の分析と建築生産の解明」（研究代表者：海野聡）との共同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和5年 12月9日（土）	御所（宮殿）・邸宅造営関係資料の地脈と新天地 「宮内庁書陵部図書寮文庫所蔵「中井家文書」の新知見と東アジア工匠関連史料」 午前 中井家史料熟覧 午後 趣旨説明 東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡 I 部 宮内庁書陵部所蔵図書寮文庫内匠寮本「中井家文書」の建築史的検討 東京大学大学院工学系研究科修士課程 堤 淳也 「江戸後期の長屋門の造営資料の分析」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 妹背 伊織 「江戸後期の厩の造営資料の分析」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 前田 瑠嘉 「寛政度唐御門の造営と形態の変遷」 II 部 東京大学東文研所蔵の雷氏関連史料の特徴と建築生産 東京大学大学院工学系研究科修士課程 田 雨森 「雷氏の庭園関連絵図資料の特徴」 東京大学大学院工学系研究科修士課程 呉 宜 「雷氏の陵墓関連絵図資料の特徴」 東京大学大学院工学系研究科博士課程 華 揚 「工程作法と工匠家における造営の規範」 コメント 東京大学東洋文化研究所教授 塚本 麿充	60人 小ホール

	Ⅲ部 国際対談「建築図面史料と実態のはざま～東アジアにおける建築図面史料の史料的価値」 京都府立京都学・歴彩館館長 金田 章裕 竹中大工道具館 崔 ゴウン 東京大学大学院工学系研究科准教授 海野 聡	
--	---	--

○ 陽明文庫講座

公益財団法人陽明文庫、東京大学史料編纂所との共同主催で実施しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和5年 11月26日（日）	陽明文庫資料からの新発見Ⅳ ○講演 公益財団法人陽明文庫文庫長 名和 修 「予楽院茶杓筆筥について」 京都産業大学日本文化研究所長 小林 一彦 「後桜町天皇と近衛内前—女帝の和歌とまつりごと」 ○報告 東京大学史料編纂所特任研究員 佐竹 朋子 「近衛家熙と「大唐六典」校訂事業」	220名 大ホール

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日、小ホールにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師（敬称略）	参加者数
令和5年 4月6日、13日	祈りのかたち—原始・古代—	副館長 森下 衛	162人
令和5年 4月20日、27日	春季企画展「THE 京都学—集める・のこす・伝える—」関連ミニ講座 ①春季企画展「THE 京都学—集める・のこす・伝える—」の見所① ②春季企画展「THE 京都学—集める・のこす・伝える—」の見所②	資料課 ①若林 正博 ②楠 久美	126人
令和5年 5月11日、18日、 25日、6月1日	「仁義」と「任侠」の政治文化史	京都学推進課 杉本 弘幸	245 人

令和5年 6月8日、15日、 22日、29日	京都府の文化財 ～令和4年度府指定・登録文化財～ ①【史跡・考古資料】令和4年度京都府 暫定登録文化財の史跡・考古資料 ②【彫刻】京都の鉄仏一京都府新指定文 化財 亀岡大圓寺像を中心に一 ③【絵画】中国絵画と18世紀京都画壇 ④【建造物】令和4年度京都府指定の建 造物一荒井神社本殿一	京都府文化財保護課 ①中居 和志 ②桑原 正明 ③長谷川 貴信 ④山田 真美	163 人
令和5年 7月6日、 13日、20日	宇治御茶師のおもてなし	宇治市源氏物語ミュ ージアム 坪内 淳仁	213 人
令和5年 8月3日、10日、 24日、31日	京職とみやこ	京都学推進課 林 奈緒子	221 人
令和5年 9月7日、14日、 21日、28日	京都府立大学 共催特別企画 ①京都の料理屋のサービス ②京都の庭園 平庭と坪庭 ③京都の森林と木材 ④中世の源氏絵と文芸	①京都府立大学文学 部 平本 毅 ②京都府立大学生命 環境科学研究科 福井 亘 ③京都府立大学生命 環境科学研究科 神代 圭輔 ④京都府立大学文学 部 安達 敬子	280 人
令和5年 10月5日、12日	パネル展「発掘された京都の歴史 2023」を通して見た古代史！	京都府埋蔵文化財調 査研究センター 小池 寛	142 人
令和5年 11月2日、9日、 16日、30日	京都府立植物園開園 100 周年に向けて ①京都府立植物園のバラ ②京都府立植物園 四季の花壇 ③京都由来の植物（その2） ④京都府立植物園の植物多様性保全の 取り組み	京都府立植物園 ①船木 啓祐 ②上羽 侑平 ③肉戸 裕行 ④肉戸 裕行	218 人
令和5年 12月7日	国府の景観	館長 金田 章裕	84 人

令和5年 12月21日、令和 6年1月11日、18 日	古代天皇の在所―内裏と里内裏―	京都学推進課 今村 凌	252 人
令和6年 2月1日、 8日、22日、29日	73 の領主がいた村-壬生村の近世-	京都学推進課 松浦 智博	251 人
令和6年 3月7日、14日、 21日、28日	京都で見る西洋建築の意匠	京都学推進課 中西 大輔	168 人

※12月7日開催分については大ホールで実施。

○ 日本名作映画上映会

府民の皆様だけでなく、日本在住・来日中の海外の方々にも日本映画を通して、京都や日本の歴史・文化に親しんでいただくため、国際交流基金京都支部と共催で英語字幕付の映画上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和5年9月6日(水)	英語字幕付『源氏物語』上映と関連資料紹介	236人 大ホール
令和5年12月6日(水)	英語字幕付『宗方姉妹』上映	237人 大ホール

○ 資料に親しむ会

当館が所蔵する資料について、実際に資料を見ながら、当館職員が持つ知見をわかりやすく解説する講座を開催しました。

年月日	内 容・講師等（敬称略）	参加者数
令和5年4月11日(火)	歌川広重が描いた京都 資料課 大瀧 徹也	99人 小ホール
令和5年5月9日(火)	歴彩館のデータベース 資料課 合田 淳	51人 小ホール
令和5年6月13日(火)	総選挙今昔物語～大正・昭和時代の館内資料から～ 資料課 白川 哲夫	43人 小ホール
令和5年7月11日(火)	明治・大正期の京都府会会議録 資料課 楠 久美	43人 小ホール
令和5年9月5日(火)	古天文学と『明月記』の記録 資料課 赤羽 莉奈	78人 小ホール

令和5年10月10日(火)	慶応4年の目安箱―御一新と民衆の声― 資料課 山本 琢	76人 小ホール
令和5年11月14日(火)	天神さまと西京神人(にしのきょうじにん)―川井家の旧蔵資料から― 資料課 松田 万智子	83人 小ホール
令和5年12月12日(火)	京都市動物園のはじまり 資料課 吉田 奈央	56人 小ホール
令和6年1月9日(火)	雨と雪の風景版画 資料課 大瀧 徹也	48人 小ホール
令和6年2月13日(火)	南蛮菓子のパン食文化 資料課 藤原 直幸	69人 小ホール
令和6年3月12日(火)	立花の名手 大住院以信 資料課 田中 まさみ	39人 小ホール

○ 寺子屋講座

小中学生を主な対象としたワークショップを開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和5年8月2日(水)	午前：寺子屋講座 歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸 午後：寺子屋講座 浮世絵のペーパークラフトをつくろう！ 資料課 赤羽 莉奈	午前：23人 午後：18人 小ホール
令和5年8月8日(火)	午前：寺子屋講座 浮世絵のペーパークラフトをつくろう！ 資料課 赤羽 莉奈 午後：寺子屋講座 歴彩館でボードゲームを楽しもう！ 資料課 藤原 直幸	午前：28人 午後：24人 小ホール

○ 映像資料上映会

映像資料の利用普及のため、当館所蔵資料の上映会を開催しました。

年月日	内 容	参加者数
令和5年7月27日(木)	歴彩館で楽しむ「海の京都」	25人 小ホール
令和6年3月27日(水)	森の京都「なんたん」歴史街道を訪ねて	30人 小ホール

○ 京都資料総合閲覧室ミニツアー

歴彩館を初めて訪れた方や京都資料総合閲覧室を利用したことがない方を対象に、京都資料総合閲覧室の資料と使い方を案内するミニツアーを開催しました。本年度は京都府立大学附属図書館の新入生オリエンテーションと連携し、7回実施して、のべ18人の方にご参加いただきました。

○ 歴彩館リサーチサポート

学生を対象に、研究活動を支援するために、テーマごとに歴彩館が所蔵する資料の使い方を解説する歴彩館リサーチサポートを開催しました。

年月日	テーマ・講師	参加者数
令和5年12月14日 (木)、12月20日(水)	「江戸時代の絵図」 資料課 大瀧 徹也	3 人
	「近現代の地図」 資料課 大瀧 徹也	0 人
	「新聞」 資料課 大瀧 徹也	2 人

○ 館外での講座（当館職員・敬称略）

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
令和5年 9月2日(土)	徳川時代始まりの地、伏見を歩く 資料課 若林 正博	主催：JR東海京都・奈良・近江文化情報事務局 フィールドワーク	32 人
令和5年 10月14日(土)	洞ヶ峠越え～第三の私鉄（#戦前、#京阪間） 資料課 若林 正博	主催：京阪ホールディングス アートエリアB1	68 人
令和5年 10月28日(土)	いつも寺田があった。将軍・家康の視線の先に。 資料課 若林 正博	主催：城陽市歴史民俗資料館友の会 城陽市歴史民俗資料館	34 人
令和5年 12月8日(金)	大河ドラマと伏見 資料課 若林 正博	主催：京都伏見ロータリークラブ ホテルグランヴィア京都	58 人

令和5年 12月14日(日)～	戦国BANASHI【ミスター武士道】 「徳川家康が重要視した『京都・伏見』の知られざる歴史を探访！」 資料課 若林 正博	提供：きょうと魅力再 発見旅プロジェクト事 務局 YouTube動画配信	42331回 再生 (R6.5.16 時点)
令和6年 2月25日(土)	地域(郷土)資料のアーカイブと利 活用入門 資料課 若林 正博	主催：長崎県立長崎図 書館、長崎県公共図書 館協議会 長崎県立長崎図書館	56 人
令和6年 2月25日(土)	京街道伏見宿と淀宿 資料課 若林 正博	主催：京阪ホールディ ングス 伏見区役所	200 人

◆ 資料紹介コーナー

当館主催の展覧会や講演会等に関連する所蔵資料を紹介するコーナーを設け、展覧会や講演会への興味を持ってもらい、また、理解を深めていただきました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
令和5年4月21日(金) ～6月13日(火)	ちょっとそこまで歩いてみよう	—	489
令和5年5月30日(火) ～6月13日(火)	京都学・歴彩館 金田館長の著作	京都SKY大学	198
令和5年6月15日(木) ～8月8日(火)	海の京都	当館主催上映会、当 館主催パネル展示	275
令和5年7月1日(土) ～9月30日(土)	暑さを忘れる怖い本	府大図書館連携	210
令和5年7月13日(木) ～9月8日(金)	うたかたの新時代 京都	当館展覧会	300
令和5年8月10日(木) ～9月8日(金)	ときめく源氏物語	当館主催上映会	470
令和5年9月16日(土) ～11月7日(火)	図書de「色の美」展	当館展覧会	144
令和5年10月12日(木) ～11月7日(火)	古典がかた(ど)る安倍晴明	古典の日	315
令和5年10月18日(水) ～10月31日(火)	宇治茶をめぐる三つの元素の物語	当館主催講座、当館 主催パネル展示	143
令和5年10月28日(土) ～12月27日(水)	京都文化博物館35年のあゆみ	—	470
令和5年11月9日(木) ～12月12日(火)	日日是京都	当館主催パネル展 示	80

令和6年1月5日(金) ～3月31日(日)	紫式部が生きた時代～平安王朝 の世界へ～	府大図書館連携、当 館主催パネル展示	697
令和6年1月11日(木) ～3月12日(火)	「東寺百合文書で古文書解説！ 鎌倉・室町・戦国時代～中世文 書、はじめの一步」関連資料紹介 コーナー	当館展覧会	717
令和6年3月14日(木) ～4月9日(火)	バック・トゥ・昭和レトロ～昭和 のまちとくらし～	当館展覧会	150

加えて、資料紹介リストを作成し、次の講演会で配布しました。

- ・「昭和28年水害を振り返る」
- ・「近世俳諧の玉手箱～本のたどった数奇な運命～」
- ・「藤原道長と紫式部」

◆ SNS

館のイベント情報、休館日や開館時間、京の記憶アーカイブの更新情報（お知らせ、資料ガイド等）、資料紹介や調査（レファレンス）事例、北山エリアの話題等を広く発信するため、平成31年4月22日からTwitterとFacebookを始めました。本年度は308件発信しました。

○ #京都あれこれ

ハッシュタグに「京都あれこれ」を付して投稿し、当館が所蔵する資料を紹介しました。本年度は『大正大禮京都府記事関係寫眞材料』や『耳鳥齋畫譜』などを取り上げ、合計52回投稿しました。

5 大・小ホール、学習室について

ア 大・小ホール

大ホールの利用人数は21,186人、小ホールの利用人数は12,373人でした。

イ 学習室について

座席数は86席で、平日は9時～20時45分、土日は9時～16時45分で開室しました。

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール
令和5年4月	28日	3,199人	1,162人	597人
5月	27日	4,296人	1,776人	1,352人
6月	29日	5,127人	1,280人	889人
7月	29日	5,143人	3,700人	1,709人
8月	28日	5,592人	1,378人	721人
9月	27日	4,248人	2,338人	571人
10月	29日	5,424人	2,079人	2,318人
11月	27日	5,175人	2,229人	1,035人
12月	26日	4,393人	1,894人	561人
令和6年1月	25日	3,889人	1,110人	698人
2月	25日	4,427人	1,232人	874人
3月	29日	3,880人	1,008人	1,048人
計	329日	54,793人	21,186人	12,373人

6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207 席）で、開架図書約 2 万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 3 年 7 月 1 日から行っていた開館時間を午後 7 時までには制限する措置を令和 5 年 5 月 8 日に解除。

（1）京都資料総合閲覧室の利用状況

ア 出納の状況

年月	開 室 日 数	出納の状況											
		図書 (書庫資料)		古文書		行政文書		写真 資料		近代文学 資料		合計	
		件 数	冊 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点(冊) 数
5年 4月	28	572	2,518	45	487	46	181	0	0	3	33	666	3,219
5月	27	718	4,345	40	397	42	176	0	0	2	16	802	4,934
6月	29	829	5,364	49	432	52	303	0	0	3	37	933	6,136
7月	29	701	4,205	33	480	47	223	0	0	3	47	784	4,955
8月	28	654	4,066	28	707	51	212	0	0	3	28	736	5,013
9月	23	533	2,859	34	447	47	221	0	0	3	28	617	3,555
10月	29	785	3,927	37	672	51	289	0	0	3	22	876	4,910
11月	27	801	3,677	26	450	43	207	0	0	3	58	873	4,392
12月	26	657	3,123	27	538	39	215	0	0	2	26	725	3,902
6年 1月	25	681	3,240	31	455	41	272	0	0	3	62	756	4,029
2月	25	611	2,910	29	267	39	147	0	0	1	13	680	3,337
3月	29	571	2,918	33	1,233	45	211	0	0	5	62	654	4,424
合計 (1日あたり)	325	8,113 (25.0)	43,152 (132.8)	412 (1.3)	6,565 (20.2)	543 (1.7)	2,657 (8.2)	0 (0)	0 (0)	34 (0.1)	432 (1.3)	9,102 (28.0)	52,806 (162.5)

イ 利用者数

年月	開室日数	利用者数	1日あたり(人)
5年4月	28	8,814	314.8
5月	27	9,924	367.6
6月	29	10,471	361.1
7月	29	13,930	480.3
8月	28	8,230	293.9
9月	23	5,495	238.9
10月	29	11,042	380.8
11月	27	10,395	385.0
12月	26	9,118	350.7
6年1月	25	10,326	413.0
2月	25	8,667	346.7
3月	29	6,438	222.0
合計	325	112,850	347.2

(2) 資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

年月	口頭	電話	文書	合計
5年4月	520	145	66	731
5月	602	169	74	845
6月	683	230	82	995
7月	528	172	72	772
8月	498	149	55	702
9月	543	136	60	739
10月	604	130	72	806
11月	609	120	64	793
12月	493	111	58	662
6年1月	522	142	55	719
2月	473	111	57	641
3月	461	136	63	660
合計	6,536	1,751	778※	9,065

※うち電子メール773件

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	2,489	602	423	3,514
複写依頼	1,738	191	67	1,996
特定図書の所蔵調査	1,403	567	81	2,051
図書に関する書誌的調査	46	22	2	70
人名・地名等の読み方調査	7	1	33	41
人物・団体調査	115	43	36	194
内容調査	393	165	72	630
その他	345	160	64	569
計	6,536	1,751	778	9,065

ウ 相談事例

○愛宕郡の秋祭りについて、明治6年に京都府より「秋祭りを10月23日に統一せよ」というお達しがあったと大原の神社の神職の覚書にある。これを裏付ける資料はあるか。

【回答】

『松ヶ崎』p.151に「明治六年五月に愛宕郡が『小学校費用伺書』を知事にだしていますが、その中に「毎年氏神祭礼の節に、分に応じて飲食を贈り合うのは多分に手数を費し無益であるので、これを廃止し、愛宕郡中の祭礼は全部同月同日霜降の節(旧暦の九月の中)に営み、互に省費して、云々」とあります。これによって旧愛宕郡のお宮さんの祭礼を十月二十三日にしたところがたくさんあったようで、これが今もつづいているわけです。」、p.66に「愛宕郡十区の正副区長二十人が、明治六年五月に『小学校費用方法伺書』を知事に提出しています。これは、郡中で無益な雑費を省いて、有志金を積立てそれを小学校の運営費にあてようとするものです。」とあり、小学校の運営費に充てるために祭礼における雑費を削減したことが書かれている。

また、古文書資料「上田家文書」に、明治6年5月における愛宕郡区長から京都府知事宛の「小学校費用方法窺書」があり、支出を抑えて小学校運営費用に充てるため、愛宕郡中の氏神の祭礼を同じ日にするとあった。

○京都で竹工芸産業が100年以上前からあったことを証明する資料はあるか。

【回答】

明治16(1883)年発行の『都の魁』(『新撰京都叢書、第6巻』より)p.219に、竹細工の商店が2軒記載されている。

明治43(1910)年発行の『The official catalogue』p.36に、「Bamboo Work」として京都の竹工芸の説明がある。また、広告ページのp.36に「S. MORITA」、p.50に「速水吉平」の竹工芸の広告があり、いずれも商品の写真が掲載されている。

明治44(1911)年発行の『春季展覧會出品人名録』p.99に新案竹製羽織紐竹製器具

として商号「竹武」の岡村武次郎の記載がある。

京都商品陳列所においては、大正 2（1913）年発行の『京都商品陳列所報告，第 3 回』p. 79 及び大正 3（1914）年発行の『京都商品陳列所報告，第 4 回』p. 87 に京都市海外輸出品統計調査表があり、竹細工の輸出高が掲載されている。

大正 11（1922）年発行の『京都商工人名録，大正 11 年改版』p. 152 には、竹細工の商店が 3 軒ある。

○京都の職人が仕事で使う言葉について書かれた資料はあるか。

【回答】

京都の伝統産業の職人言葉を業種別に解説している『職人ことば辞典』を見ると、pp. 181-184 の西陣織には西陣の職人・業界関係語、仕事関係語、食生活関係語の項目があり、pp. 223-234 の伏見酒には酒造りの工程語、酒の種類と味、道具名、職名の項目がある。伏見酒における道具名では、狸（桶）、猿（蒸気を四方に出す亀甲型の道具）、猫（四本足の踏み台）などが紹介されている。pp. 255-284 の扇職人と京人形師については、『職人ことばの研究，1, 2』に同様の記載があった。

他にも、『京ことばの生活』pp. 63-143「Ⅱ京都の職人ことば」では伏見酒や清水焼の職人言葉が詳しく記載されており、『生活とことば：京都・滋賀の暮らし（方言 350 語）』pp. 49-53「伝統産業の用語」にも記載がある。

業種別の資料では、西陣の機業家で使われている言葉の中から織物に関する用語を集めた『西陣織屋ことば辞典』があった。

○『拾遺都名所図会』に描かれた「七夕梶葉流」と「都町踊」について、どのような行事か知りたい。

【回答】

七夕梶葉流（たなばたかじのはながし）とは、7 月 6 日の夕方に、子どもたちが梶の葉などで飾り付けた笹飾りを手習いの師匠の家に持って行き、日が暮れたら鴨川に流すという七夕の行事で、『季節を祝う京の五節句 新春・雛祭・端午・七夕・重陽』pp. 130-146 には、京都の七夕について『拾遺都名所図会』の「七夕梶葉流」や七夕笹飾り（復元）の写真が掲載されており、p. 177 の解説文には七夕梶葉流の概要が書かれている。

『七夕の紙衣と人形』pp. 32-36「七夕小史」に各時代の七夕についての解説があり、「寺子屋の子供が主役となる江戸後期の七夕」では、『拾遺都名所図会』の「七夕梶葉流」の絵に「梶の葉型の灯籠などを付けた竹笹飾りを持って鴨川の橋に集う子どもたち」と説明がある。また、滝沢馬琴の『羈旅漫録』では、「京都では七夕の星の手向けに、小さい鬼灯提灯をいくつも笹につけ、六日の夕方に小童がこれを長い竿の先に結び付けて、その手習いの師匠の家の前に持って行く。暮れると加茂川へ持ち出しこれを流す。…」と解説されている。

都町踊（みやこまちおどり）とは、小町踊から変化していった安永・天明の頃の盆踊りの一種で、町に踊り場をしつらえて人々が集い踊った行事で、『京のお盆と盆踊り、復刻版』p.31 の小町踊の項に、都町踊について「こうして百余年間京の町の年中行事となつて伝えられて来ましたが、追々に変化して安永、天明頃には乙女も附添いの乳母、女中もまた男子までも、或は女装したりして、手を上げて踊り、踊り場をしつらえてここではあちこちから集つて好きなだけ踊りぬいたものらしく、都町踊りと云つていました。」とあり、『拾遺都名所図会』の「都町踊」が掲載されている。この図版は、『[京都文化博物館 2 階・3 階総合展示室リーフレット] 令和 3 年度』（「京の盆踊り」）にも掲載されているほか、当館のデジタルアーカイブでも見ることができる。

○白川通の丸太町通から今出川通までの道路について、開通と舗装の時期を知りたい。

【回答】

開通は昭和 14（1939）年 12 月 20 日、舗装は遅くとも昭和 29（1954）年 3 月までに行われている。

開通時期については、『[京都市交通局]事業概要(月報)』（昭和 29 年 2 月）の附録「白川線（四号線）工事及びこれに伴う運輸」によると、昭和 14 年 1 月 25 日から 9 月 30 日に岡崎東天王町から鹿ヶ谷寺前町、同年 2 月 28 日から 12 月 20 日に鹿ヶ谷寺前町から浄土寺西田町の道路工事があったと書かれている。丸太町（岡崎東天王町）から今出川（浄土寺西田町）までの区間の開通は、同年 12 月 20 日であることが分かる。

舗装時期については、『京都市政概要、1954 年版』の観光の章に「29 年 3 月開通の白川線」という写真があり、写真は舗装されているように見える。『さよなら京都市電：83 年の歩み』p.86 には、「「祝開通」の幕をつけて錦林車庫前を走る 278 号車」「昭和 29 年 3 月の真如堂付近 白川線開通当時ののどかな風景」という写真があり、同様に写真は舗装されているように見える。『写真集「市電が走った京の街」：ワンマンカー時代を中心として』p.57 には昭和 43（1968）年冬撮影の「「錦林車庫前」にて 2」の写真があり、写真では路面が濡れていて、砂利ではないことが分かった。

○京都飛行場について知りたい。

【回答】

京都飛行場は、現在の京都府久御山町において、昭和 15（1940）年に着工、昭和 17（1942）年に完成した飛行場である。飛行場内には京都航空機乗員養成所が設けられた。

京都飛行場の図面や建設時の写真については、『京都飛行場平面図』や『[京都飛行場建設にかかわる古川改修工事写真帖]』で確認できる。『青春の証京都航空機乗員養成所誌』p.162「京都航空機乗員養成所 飛行場建設の様子」には、京都飛行場工事の内容や建設前後の土地の様子について書かれている。

周辺地域や航空機乗員養成所については、『久御山町史、第 2 巻』pp.571-609「京都

飛行場の建設」に、京都飛行場の計画と村の動き、逓信省航空機乗員養成所について記載がある。『語りつぐ京都の戦争と平和』pp. 191-196「京都飛行場とウトロ土地問題」は、京都飛行場や日本国際航空工業について書かれており、大久保・久御山地域の戦争遺跡の地図や京都航空機乗員養成所記念碑の写真が掲載されている。

飛行場跡地については、『京都府市町村合併史』p. 816 に旧飛行場跡の写真がある。また、『二十八年の歩み』p. 3 に元逓信省航空機乗員養成所を間借りして淀中学校が開校したと書かれており、p. 4 に旧校舎の写真がある。なお、淀中学校は昭和 28（1953）年に現在の場所に移転した。

『総合資料館だより』117 号 pp. 8-9「巨椋池干拓事業と京都府巨椋池干拓事務所文書」では、干拓地の一部に京都飛行場の建設が計画されたことや、飛行場の排水処置については「飛行場交渉一件」にまとめられていることが書かれている。行政文書の「[飛行場交渉一件]」、「京都飛行場設置に関する件」（「嵐山東公園関係書類綴」より）、「財産及営造物 基本財産処分許可の件 指令」（「使用料・町村債・財産及営造物」より）、「昭和 20 年度事業繰越追加予算の件」（「参事会原議」より）にも記録があった。「財産及営造物 基本財産処分許可の件 指令」には飛行場用地被買収者に巨椋池干拓地を払い下げたことが書かれており、「昭和 20 年度事業繰越追加予算の件」には事業繰越追加予算調書（京都飛行場建築費）について書かれている。

○京都の悉皆業について知りたい。

【回答】

『京都大事典』によると、悉皆業とは消費者と各染色加工業者をつなぐ染物の請負業のことで、染匠ともいう。

『京染の秘訣，増補版』p. 106「悉皆業と悉皆の沿革」に、悉皆業の概要と沿革や、誂悉皆屋、仕入悉皆屋について記載がある。『伝統産業の近代化：京友禅業の構造（同志社大学人文科学研究所研究叢書；3）』p. 116、『京都染織業の研究：構造変化と流通問題』p. 37 には、「誂友禅業の構造 その一 社会的分業と悉皆業」として、悉皆業者の性格や分業の仕組みについて説明がある。『京染呉服悉皆同業組合創立廿周年記念誌』p. 1 には京染悉皆の沿革、p. 6 には悉皆組合について書かれている。『京都商工要覧，昭和 13 年版』p. 402「悉皆業者」には、悉皆業の仕組みや細分類について記載がある。

悉皆業の従事者については、京都工芸染匠協同組合の歴史を記した『染匠二十周年史』の p. 52 に組合員の名簿がある。『京都商工大鑑』p. 189 には、代表的な人物の解説と悉皆業者の一覧がある。

（web ページの最終確認日：2024 年 4 月 22 日）

* 当館では、回答した事例の中からピックアップし、国立国会図書館が運営するレファレンス協同データベース (<https://crd.ndl.go.jp/reference/>) に登録しています。当

館で受け付けた相談事例の詳細は、上記より御覧いただけます。レファレンス事例の詳細検索画面から、検索項目：提供館名「京都府立京都学・歴彩館」で検索してください。

本年もこのデータベースに多くの事例を登録したことにより、昨年に引き続き国立国会図書館長より御礼状の交付を受けました。

エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解説、整理・保存等についての相談対応するものです。

カウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で寄せられた相談に対応しました。

オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成27年11月12日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	101
複写申込件数	65
複写枚数	932

(3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。詳細は次のとおりです。

番号	申請者の区分	資料区分	資料名	点数
1	個人	日本画	三畠上竜「大原女図」ほか	11
2	個人	その他	「七宝鳳凰図」	1
3	個人	版画	「蘭花譜」	1
		書	近衛文麿「夢」ほか	2
4	個人	日本画	「鶴沢探泉像」ほか	2
5	個人	日本画	土佐光貞「定家詠十二ヶ月花鳥図屏風」	1
6	個人	郷土玩具	「岩井温泉の木地玩具「湯かむり人形」」ほか	7
7	個人	日本画	「諸家画帖」（「天籟画帖」）	1
8	個人	日本画	「七十一番職人づくし歌合絵巻」	1
9	個人	日本画	「百鬼夜行絵巻」	1
10	個人	日本画	「洛北三祭礼図」	1
		古典籍	『都すずめ案内者』ほか計 4 点	4
合計 10 件 33 点				

7 館蔵資料等の撮影と複写

(1) 使用及び利用

館蔵資料等を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物等への掲載等を行う場合の利用届があったのは次のとおりでした。

資料種別		使用		利用	
		件数	冊(点)数	件数	冊(点)数
図書資料		16	36	31	80
	図書・雑誌	10	25	18	51
	古典籍	6	11	13	29
文書資料		10	222	77	232
	古文書	10	220	39	100
	行政文書	0	2	32	118
	写真資料	0	0	1	9
	近代文学資料	0	0	5	5
管理委託現物資料		16	22	16	22
合 計		42	280	124	334

(2) 行政文書の自写(許可を得て利用者自身が撮影)の状況

859点 29,725枚

(3) 複写状況 (R5.4.1～R6.3.31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	7, 256	115, 423
	カラー		5, 841
(撮影) ※			(13, 620)
画像プリント			2, 235
マイクロリーダープリンター			6, 074
国会図書館デジタル送信資料用端末による印刷※※	白黒		897
	カラー		35
京の記憶アーカイブ及び館内閲覧端末での印刷	白黒		17
	カラー		11
合 計		7, 256	130, 533

※撮影は、複写枚数に含まない。

※※図書館向けデジタル化資料送信サービス対象資料の閲覧は、令和4年5月19日から「個人向けデジタル化資料送信サービス」が開始されたことにより、個人の登録利用者でも閲覧可能になり、令和5年1月18日からは印刷機能も利用できるようになったため、当館での印刷数が減少したものと思われる。

8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 43件、481点の貸与を行いました。

(1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 総合展示「いけばなの世界展」	現代立花之図 ほか	2
2	京都府立図書館 集書院 150 周年記念展「プレイバック集書院」	京都博覧協会史 畧ほか	2

(2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 総合展示「～室町幕府滅亡後 450 年～ 足利将軍、戦国を駆ける！」	宣胤卿記ほか	3
2	京都文化博物館 総合展示「～室町幕府滅亡後 450 年～ 祇園祭一足利将軍が見た山鉾巡行ー」	二水記・建内記	3
3	鳥取市歴史博物館 令和 5 年度企画展「鳥取城のあゆみ～天神山城から鳥取城へ～」	華頂要略	1
4	彦根城博物館 企画展「仰ぎて天文を見るー江戸時代の天文学・暦学・星占いー」	明月記	1
5	京都文化博物館 総合展示「徳川家康とその時代」	梵舜記ほか	57
6	京都文化博物館 総合展示「いけばなの世界展」	君臺觀左右帳記 ほか	21
7	山梨県立美術館・大分県立美術館 「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」	譚話浮世風呂 ほか	3
8	京都国立博物館 特別展「東福寺」	撮影鑑 二	1
9	京都府立図書館 集書院 150 年記念展「プレイバック集書院」	和蘭字彙ほか	7
10	国立歴史民俗博物館 企画展示「陰陽師とは何者かーうらない、まじない、こよみをつくるー」	暦林問答集ほか	2

11	大山崎町歴史資料館 開館 30 周年記念 第 31 回企画展「記憶のなかの西観音寺ー建立から廃仏毀釈までー」	都名所図会ほか	2
12	朝日町歴史博物館 令和 5 年度企画展「型、カタ、かた…江戸のやきものづくり」	陶器指南	1
13	京都文化博物館 総合展示「異界へのまなざしーあやかしと魔よけの世界ー」	繪巻物長谷雄卿 逢羅城門鬼神之神圖ほか	6
14	京都文化博物館 総合展示「日本考古学の鼻祖 藤 貞幹展」	内裏式ほか	3
15	あべのハルカス美術館 開館 10 周年記念「円空ー旅して、彫って、祈ってー」	畸人傳	2
16	京都文化博物館 総合展示「紫式部と『源氏物語』」	権記ほか	154
17	パナソニック汐留美術館・神戸市立博物館 「テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本」	譚話浮世風呂 ほか	3

(3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都文化博物館 総合展示「～室町幕府滅亡後450年～ 足利将軍、戦国を駆けける！」	東寺百合文書、 革島家文書 ほか	41
2	京都文化博物館 総合展示「～室町幕府滅亡後450年～ 祇園祭ー足利将軍が見た山鉾巡行ー」	大西家文書	1
3	奈良国立博物館 特別展「聖地 南山城ー奈良と京都を結ぶ祈りの至宝ー」	禅定寺文書	2
4	京都文化博物館 総合展示「徳川家康とその時代」	松平家資料 ほか	23
5	富山県〔立山博物館〕 令和5年度後期特別企画展「越中立山の近世本草学ー何でもあり！あふれる探求心ー」	山本読書室資料	14
6	人間文化研究機構国立歴史民俗博物館 企画展示「陰陽師とは何者かーうらない、まじない、こよみをつくるー」	若杉家文書 ほか	24
7	彦根城博物館 特別展「大名と菓子ー百菓繚乱ー」	平和家文書	1

8	京都文化博物館 総合展示「池大雅ーあるコレクターの視点ー」	佐々木米行氏 関連資料	1
9	大谷大学博物館 2023年度特別展「古典籍の魅力2023」	東寺百合文書	1
10	南丹市立文化博物館 令和5年度秋季特別展「大堰川と由良川の水運ー川と人の暮らしー」	古久保家文書、 近藤家文書 ほか	10
11	城陽市歴史民俗資料館 令和5年度秋季特別展「城陽の絵図と地図ー描かれた近世の村ー」	山城国水系図	1
12	京都文化博物館 総合展示「異界へのまなざしーあやかしと魔よけの世界ー」	東寺百合文書、 若杉家文書 ほか	26
13	京都文化博物館 総合展示「日本考古学の鼻祖 藤 貞幹展」	東寺百合文書 ほか	5
14	亀岡市文化資料館 第72回企画展「亀岡 近代学校の成立と藩校・地域社会」	及川家文書	2

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	大山崎町歴史資料館 開館 30 周年記念 第 31 回企画展「記憶のなかの西観音寺ー 建立から廃仏毀釈までー」	布令書ほか	5
2	京都文化博物館 総合展示「異界へのまなざしーあやかしと魔よけの世界ー」	布告留ほか	2

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称	資料名	点数
	なし		

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計19件(70点)の貸与を行いました。

貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会等の名称	部門	資料名	点
1	堂本印象美術館	展覧会「生誕 100 年記念 堂本元次展」	日本画	堂本元次「白壁の土蔵」ほか	17
2	目黒区立美術館、高梁市成羽美術館、新潟県立近代美術館	展覧会「ベルギーと日本」	洋画	太田喜二郎「少女」ほか	3
3	公益財団法人泉屋博古館	特別展「木島櫻谷—山水夢中—」	日本画	木島櫻谷「僊客採芝図」ほか	8
4	京都国立近代美術館、岐阜県美術館、岡山県立美術館	展覧会「前衛陶芸の誕生 走泥社とその時代」展	陶芸	中島清「鉄釉ふで投つぽ」ほか	3
5	京都府文化生活部 文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示	日本画	清水豊「加悦の家並」ほか	5
			洋画	南大路一「久見浜湾」	1
6	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため	陶芸	松風栄一「染飾盒子 椿の里」	1
7	公益財団法人西宮市大谷記念美術館	展覧会「画人たちの仏教 絵画—如春斎再び!」	日本画	佐久間草偃「雪舟模 大聖世尊像」	1
8	京都府文化生活部 文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示	日本画	西久松吉雄「古の社— 萩田野神社」ほか	6
9	堂本印象美術館	展覧会「第 4 回京都工芸美術作家」	漆芸	伊藤裕司「梅開上苑」ほか	2
10	京都府文化生活部 文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	中尾英武「三岳山金光寺」ほか	6
11	茶道資料館	展覧会「炭道具 美味しい一椀を」	日本画	山口素絢「炭手前」	1
12	出光美術館	展覧会「生誕 300 年記念 池大雅—陽光の山水」	日本画	池大雅「柳下童子図 屏風」ほか	3
13	内閣府迎賓館京都事務所	京都迎賓館における貴賓の接遇のため	日本画	猪熊佳子「杜の雫」	1

14	下出裕太郎（会場： 粲宙庵）	展覧会に出品のため	漆芸	下出裕太郎「漆屏風 「爛漫」」	1
15	板橋区立美術館、三 重県立美術館	展覧会「シュルレアリス ムと日本」	洋画	松崎政雄「フィンガ ーペイント」	1
16	京都府文化生活部 文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役 室展示のため	日本画	綾田勝義「袖志の 棚田」ほか	4
			洋画	吉村勲「疎水端の 桜」ほか	2
17	アサヒグループ大 山崎山荘美術館	展覧会「蘭花譜と大山崎 山荘」	書	近衛文麿「夢」ほか	2
18	東京藝術大学美術 館	展覧会「大吉原展 江戸 アメイジング」	日本画	菊池容斎「雨中太夫 道中図・揚屋差紙」	1
19	京都国立近代美術 館、富山県水墨美術 館、碧南市藤井達吉 現代美術館	展覧会「没後 100 年 富 岡鉄斎」展	日本画	富岡鉄斎ほか「七生 之巻」	1
合計 19件 70点					

9 図書館間相互貸出

(1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書の相互貸借については、20館、37冊の貸出し、1館、1冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

貸 借 先 館 名	貸出 冊数	借受 冊数	貸 借 先 館 名	貸出 冊数	借受 冊数
京都府立図書館	1	-	八幡市立八幡市民図書館	2	-
京都市中央図書館	2	-	京田辺市立中央図書館	3	-
京都市右京中央図書館	3	-	精華町立図書館	1	-
京都市北図書館	1	-	笠置町図書室	1	-
京都市左京図書館	1	-	南丹市立中央図書館	4	-
京都市岩倉図書館	1	-	京丹波町図書館中央館	2	-
京都市洛西図書館	2	-	宮津市立図書館	1	-
長岡京市立図書館	1	-	与謝野町立図書館	1	-
大山崎町立中央公民館図書 室	1	-	京都工芸繊維大学付属図書館	2	-
			京都女子大学図書館	1	-
			京都橘大学図書館	6	1
			計	37	1

(2) 国立国会図書館等

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、令和5年度の借受利用はありませんでした。

10 共催事業等

○ 日本文化史研究1・2

京都府立大学文学部歴史学科の授業「日本文化史研究1・2」を当館にて実施しました。当館の所蔵資料を使ってグループ毎に設定したテーマで調査研究を行い、その成果発表の展覧会「府大生∞歴彩館 コラボで探る京都学」を当館の展示室で開催しました。

(授業期間：令和5年度前期(15回)・後期(15回)、受講者：14人、展覧会会期：令和5年12月16日(土)～令和6年1月7日(日))

○ 資料で親しむ京都学

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した科目「資料で親しむ京都学(リベラルアーツ・ゼミナール)」を

開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。（期間：令和5年度後期（15回）、受講者：10人）

○ 講座・シンポジウム等

当館を会場に次の共催事業を開催しました。

事業名	年月日	主催・共催者	参加者数
国際交流基金フェロー講演会「古代の仏教願文を読む：権力者による宗教的支配とは何か」	令和5年7月18日（火）	国際交流基金京都支部	58人 小ホール
国際京都学シンポジウム「京都府立大学ドイツ世界遺産都市研修の歩みーレーゲンスブルク大学協定締結10周年記念ー」	令和5年8月5日（土）	京都府立大学文学部 京都府立大学国際センター（共催）	120人 大ホール
公益財団法人古代学協会2023年度第1回公開講演会「古墳の終末と天智天皇陵」	令和5年9月24日（日）	公益財団法人古代学協会	220人 大ホール
公益財団法人古代学協会2023年度第2回公開講演会「寒門・菅原道真、権門・摂関家に屈す」	令和6年1月21日（日）	公益財団法人古代学協会	234人 大ホール

○ 指定管理者（コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体）主催事業（当館共催）

事業名	年月日	参加者数
歴彩館こどもカレッジ算数教室「そろばんで数字にふれてみよう！」	令和5年4月9日（日）	62人 小ホール
コンポスト講座（京都国際フランス学園）	令和5年4月26日（水）	25人 小ホール
みんプラ運転会in初夏の京都	令和5年5月20日（土）、 21日（日）	761人 小ホール
新・京都学講座「水引細エワークショップ 浴衣に似合う髪飾り」	令和5年6月18日（日）	26人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ「お天気講座 京都の空と防災」	令和5年7月30日（日）	184人 大ホール

歴彩館こどもカレッジ「宇宙講座 宇宙の始まりをみる！」	令和5年8月19日(土)	285人 大ホール
新・京都学講座「こてんぶんがくといしいしん・じだい！」	令和5年9月10日(日)	108人 大ホール
下鴨ブックフェア 2023	令和5年10月7日(土)、 8日(日)	2,363人
下鴨ブックフェア 2023 関連事業 「本の環」、「映画上映会ブックセラーズ」	令和5年10月7日(土)、 8日(日)	小ホール1,356人 大ホール111人
北山彩論“NORR”の森で暮らしてみたら	令和5年11月19日(日)	77人 小ホール
近世俳諧の玉手箱～本のたどった数奇な運命～	令和5年11月25日(土)	50人 小ホール
マザーズジョブカフェ&歴彩館コラボセミナー「女性のためのマネー&ライフ・プラン～人生三大資金と資産形成の基本～」	令和5年12月8日(金)	40人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ「お正月の小物を飾る水引教室」	令和5年12月10日(日)	39人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ「漢字ミュージアムコラボ 新春・手ぶらで書初め教室」	令和6年1月7日(日)	58人 小ホール
新・京都学講座「画譜をながめる」	令和6年2月18日(日)	69人 小ホール
歴彩館こどもカレッジ「算数教室 そろばんで数字にふれてみよう！」	令和6年3月24日(日)	76人 小ホール
下鴨中通ブックフリーマーケット及び北山あおいフェスティバル実行委員会	令和6年3月31日(日)	137人 ロータリー

○ 新聞連載

「京都新聞」（原則、毎月第四水曜日朝刊、地域プラス）「京の史新 学芸員の視点から」を連載。（京都文化博物館学芸員と共同執筆）

	日付	内 容	執筆者
32	令和5年4月26日	「仁義」と「任侠」の政治文化ー増田伊三郎と日暮正路	京都学推進課 杉本 弘幸
33	令和5年5月24日	大名茶人・織田有楽斎	京都文化博物館 有賀 茜、村野 正景、西山 剛
34	令和5年6月28日	戦国期の足利将軍	京都文化博物館 佐藤 稜介

35	令和5年7月26日	黒田古墳 3世紀前半頃＝南丹市	京都学推進課 森下 衛
36	令和5年8月23日	近衛予楽院の見た「芝棟」	京都学推進課 中西 大輔
37	令和5年9月27日	平安官人のオフィス用品	京都学推進課 林 奈緒子
38	令和5年10月25日	阪東屋町の近世	京都文化博物館 西山 剛
39	令和5年11月22日	魔よけとまじない	京都文化博物館 橋本 章
40	令和6年1月10日	日本考古学の祖・藤貞幹	京都文化博物館 村野 正景
41	令和6年1月23日	幕末・丹波村々の嘆願	京都学推進課 松浦 智博
42	令和6年2月27日	紫式部の足跡	京都文化博物館 橋本 章
43	令和6年3月30日	堀河院	京都学推進課 今村 凌

「京都新聞」（毎月第四日曜日朝刊、京都総合面）に、歴彩館が所蔵する古典籍を、「食」という身近な視点から紹介するコラム「おいしい古典籍」を連載。（府立大学教員と共同執筆）

	日付	内 容	執筆者
1	令和5年4月23日	鱧 「宗祇諸国物語」より	京都府立大学准教授 竹島 一希
2	令和5年5月28日	夏みかん 「和漢朗詠集」より	京都府立大学准教授 仁木 夏実
3	令和5年6月25日	パン 「古今名物御前菓子秘伝抄」より	資料課 藤原 直幸
4	令和5年7月23日	ナス 「女重宝記」より	京都府立大学准教授 市村 太郎
5	令和5年8月27日	中国酒 「水滸伝」より	京都府立大学教授 小松 謙
6	令和5年9月24日	紫蘇 「長命衛生論」より	資料課 合田 淳
7	令和5年10月22日	ナシ 「文選」より	京都府立大学教授 林 香奈
8	令和5年11月26日	紅葉の宴のお弁当 「徒然草絵抄」より	京都府立大学教授 本井 牧子
9	令和5年12月24日	伊勢海老 「世間胸算用」より	京都府立大学教授 藤原 英城
10	令和6年1月28日	酒 「花洛銘酒鑑」より	資料課 赤羽 莉奈
11	令和6年2月25日	寺納豆 「雍州府志」より	資料課 安田 睦余
12	令和6年3月24日	卵料理 「萬寶料理秘密箱」より	資料課 田中 まさみ

1 1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・図書資料

図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料

- ・古文書
- ・行政文書
- ・写真資料
- ・近代文学資料
- ・管理委託現物資料

(1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分		購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)
京都資料		346	790	276	1,412
京都に関連するその他の資料 (歴史、美術、宗教等)		243	510	547	1,300
官庁資料	京都関係	79	280	448	807
	国・他府県	95	99	49	243
合 計		763	1,679	1,320	3,762

ア 歴史・地誌

書 名	著編者等
植物園北遺跡 [2023] (京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告:2022-6)	京都市埋蔵文化財研究所編集
古文書にみる大原の歴史とくらし : 大原古文書研究会 第1回-第10回	大原古文書研究会
禁裏・公家文庫研究 第9輯	尾上陽介編
山城国宇治郡山科郷音羽村郷土中川家文書調査報告書	松本勇介編著
律令制諸国支配の成立と展開	鐘江宏之著
摂関・院政期研究を読みなおす	有富純也, 佐藤雄基編
室町時代の都と今の京都八十八ヶ所めぐり : 京都学『上杉本洛中洛外図屏風』	渡邊喜久写真・文
江戸に向かう公家たち : みやこと幕府の仲介者 (歴史文化ライブラリー:576)	田中暁龍著

歴史学による近世・近代台風・暴風雨史料 集：被害数と被害率	矢田俊文編
時慶記 第7巻	[西洞院時慶著] / 時慶記研究会編
維新の政治と明治天皇：岩倉・大久保・木戸 の「公論」主義：1862～1871	伊藤之雄著
京都山科柳辻地域二千年の歩み	鏡山次郎著
小畑区の昭和、平成、令和を記す	片山博至
亀岡・南丹・京丹波の昭和：写真アルバム	樹林舎
「未完の都」から「市民文化」へ：乙訓の文 化遺産を守る会からみた戦後日本と文化財	鈴木健吾著
近代京都と文化：「伝統」の再構築（京都大 学人文科学研究報告）	高木博志編
京都丹波の昔ばなし	吉田重光著
高瀬川物語（のこしつたえる町の記憶）	高瀬川ききみる会
子どものための松ヶ崎風土記：創立150周年 版	松ヶ崎小学校PTA 創立150周年記念事 業『子どものための松ヶ崎風土記』制 作委員会著

イ 宗教

書 名	著編者等
仏法東帰：大仏開眼へのみち：大谷大学博物 館二〇二二年度特別展	大谷大学博物館編
四季折々東本願寺めぐり	河村道浩[ほか]著
平安期密教思想の展開：安然の真如論から覚鑊 の身体論へ	亀山隆彦著
京都石清水八幡宮男山四十八坊跡：観光案内	八幡市役所商工観光課編
南山城三十三所：南山城三十三所観音霊場歴史 探訪	お茶の京都DMO(京都山城地域振興社)編 集
まつりと神々の古代	笹生衛著
六十六部日本廻国の研究	小嶋博巳著
仏法と怪異：日本霊異記の世界	武田比呂男著
新・空海論：仏教から詩論、書道まで	竹村牧男著
親鸞聖人のことば：『教行信証』御自釈を読む： 八百年の時を超えて今あなたに伝えたい	浄土真宗本願寺派総合研究所, 浄土真宗 本願寺派情報メディアセンター本部編 集

本願寺と鉄道の近代史	中西直樹著
近代日本の思想変動と浄土真宗：教化・連帯・転向	佐々木政文著
生きものたちと仏教のはなし	華園真慶著
修験道の経・講式・和讃・唱言	宮家準著
親鸞：生涯と名宝：親鸞聖人生誕850年特別展	京都国立博物館[ほか]編
竹内式部と宝暦事件	大貫大樹著
Four elements in mythology：seeking a world nature philosophy first&second（京都学術芸術コラボレーションシリーズ：日構研コラ本：5）	Masashi Nakamura著

ウ 芸術

書 名	著編者等
聖地南山城：奈良と京都を結ぶ祈りの至宝：浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念：特別展	奈良国立博物館編集
星野画廊 50 年史：明治・大正・昭和発掘された画家と作品	星野桂三，星野万美子著
京都細見美術館の名品：開館二十五周年記念展	細見美術館監修・編集
特別展東福寺	東福寺[ほか]編
承久記絵巻：龍光院本	長村祥知編著
美の表現者たち：現代の日展	日展著
近代日本美術展史	陶山伊知郎著
文化財をしらべる・まもる・いかす：国立文化財機構保存・修復の最前線	早川泰弘，高妻洋成，建石徹編
仏師快慶の研究	快慶[作] / 奈良国立博物館編
蕙斎略画全集：鳥獣・人物・草花・魚貝・山水：江戸のおもしろスケッチ帖	鋏形蕙斎著 / 加藤ゆずか解説・漫画
竹内栖鳳と高島屋：芸術と産業の接点	廣田孝著
心やすらぐ京の風景：水彩画永遠の古都	貝川代三著
表装ものがたり：書画を彩る名脇役を知る	濱村繭衣子著
土門拳の東寺	土門拳著
河井寛次郎記念館	河井寛次郎記念館著
名刀甲冑武具大鑑	小川盛弘著
公益財団法人永守文化記念財団オートマタコレクション	永守文化記念財団編著

祇園甲部と都をどり：あゆみと未来：都をどり創始百五十年・歌舞練場新開場記念	三谷茂，森知江子取材・執筆 / 岡本俊昭，松本直子編集
新選組映画はなぜ作られるのか	小松宰著
遺されたもの：南京都高校ボクシング部の物語	後藤創平著
忍者学大全	山田雄司編
野村得庵茶会記集成	野村美術館学芸部編
香千秋：香が語る日本文化史	畑正高文・監修 / マイケル・ジャメンツ翻訳
京都古典文学めぐり：都人の四季と暮らし	荒木浩著
漱石・明治・京都	丹治伊津子著
石清水八幡宮『八幡八景』を読む	竹内千代子，小西亘，土井三郎著

エ 社会・産業

書 名	著編者等
われら中堅企業：京滋の100社	京都新聞社
京都府犯罪被害者等支援条例への期待	京都犯罪被害者支援センター
「職場のジェンダーギャップ(男女差)とセクシャルマイノリティ(性的少数者)に関する意識調査」の結果報告書	京都勤労者学園
なんにも知らなかった：ひきこもりをめぐる9人の体験談	ひと・つながり研究所 CO×OD らぼ編
過疎地の特性を活かす創造的教育：美山町(京都府)のケースを中心に	村田翼夫，山口満編著
Old and new：古くて新しい。：京都久多の山村生活用具	久多自治振興会
勸修：勸修小学校創立百五十周年記念誌	浅井定雄編著
あたごさん：知れば識るほどおもしろい山：京都愛宕研究会発足20周年記念誌	鵜飼均，細里わか奈編集
在京都メキシコ名誉領事館50年の歩み	在京都メキシコ名誉領事館
わたしの宝物：京都ハチの会奮戦記	京都ハチの会編
京大理で学ぼう。	京都大学理学部・理学研究科
装いの名品：京都服飾文化研究財団所蔵	京都新聞社
祇園祭鷹山の衣裳と裾幕のデザイン：「京都芸大×鷹山」プロジェクト	京都市立芸術大学

風流踊（ふりゅうおどり）：歴史民俗画像を読み解く	福原敏男著
宇治市日本中国友好協会 50 年の歩み	宇治市日本中国友好協会
今を生きる：満州からの引き揚げの記録	黒田雅夫著
テルマエ：お風呂でつながる古代ローマと日本	青柳正規，芳賀京子監修・執筆
なぜ、日本には碁盤目の土地が多いのか（日経プレミアシリーズ:489）	金田章裕著

オ 参考図書

書 名	著編者等
江戸時代の貸本屋：庶民の読書熱、馬琴の創作を支えた書物流通の拠点	長友千代治著
博物館資料取扱いガイドブック：文化財、美術品等梱包・輸送の手引き 第2次改訂版	日本博物館協会編集
お菓子の日本語文化史（シリーズ扉をひらく：8）	前田富祺，岡村真理子著
日本漢文を読む 古代編（日本語ライブラリー）	沖森卓也，山本真吾編著 / 池田幸恵 [ほか]著

カ 官庁資料

区分	書 名	著編者等
京都関係	知っとク！ワークルール：学生のリアルな声を凝縮！：もっと早く知りたかった「働く」を一冊に！	京都府テレワーク推進センター
	ツキノワグマに注意!!：被害を防ぐために	京都府中丹広域振興局
	京都府無電柱化推進計画	京都府建設交通部道路管理課
	動物福祉に関する指針：生まれてから死ぬまで動物の暮らしをサポートする改訂版	京都市動物園
	よくわかる！お肉と市場の話	京都市産業観光局中央卸売市場第二市場
	福知山千年の森づくり基本計画：概要版	福知山市産業政策部農林業振興課
	統計でみる精華町のすがた：オープンデータで精華町の魅力を分析！	京都府政策企画部企画統計課，精華町
	みんなで支え合う認知症ガイドブック	八幡市多種職連携在宅療養支援協議会編

国	全国市町村要覧 令和5年版	市町村要覧編集委員会編
	離婚に関する統計 令和4年度	厚生労働省政策統括官(統計・情報政策、 労使関係担当)編集
	がん対策に関する世論調査 令和5年7月調査 (世論調査報告書)	内閣府大臣官房政府広報室

キ 古典籍

資料名	著編者等
東垣十書	[(元)李杲撰]，[小瀬]甫庵[出版]
都祇園会図絵	丸屋善兵衛
[伊勢暦]	佐藤伊織 [出版]
和歌呉竹集 10巻	尾崎雅嘉[著]，河内屋源七郎：伊丹 屋善兵衛[出版]
北野天満宮萬燈御繪圖	[出版者不明]
京名所案内	竹原好兵衛[出版]

ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,684	3	1,035
一般(歴史・美術・官庁等)	3,087	62	731
京 都 官 庁 関 係	902	—	260
計	7,673	65	2,026

本年度は『西京新聞』（明10～11）などを収集しました。

(2) 行政文書

ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、京都府庁で保存する紙媒体の有期限保存文書約3,500点について、学術研究資料としての価値の有無を調査しました。ほかに、地方機関が保存していた行政文書を11点収集しました。

永年保存文書の移管	
完 結 年 度	点数
平成8年度分	1,074
過年度分	277
合 計	1,351

有期限保存文書の引渡し	
完 結 年 度	点数
京都府立京都学・歴彩館	11
合 計	11

イ 整理

同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けた資料75点について、目録を作成し、検索システムの京の記憶アーカイブで公開しました。

(3) 文書の保存と複製資料の作成

ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

イ 複製資料の状況

資料区分	令和5年度収集			累 計(令和6年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古 文 書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年3月～
京の記憶アーカイブ		平成27年11月～
図書資料	約58.8万コマ	
古文書	約2.2万コマ	
写真資料	約7.9万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約8.8万コマ	

(令和6年3月31日現在)

* 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」により図書資料(古典籍)約8千コマを撮影しました(公開は次年度以降の予定)。

(4) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は、15件54点で、明細は次のとおりです。

受入先	資料区分	資料名	点数	収集区分
1	陶芸	坪井明日香「化身と道化」ほか	12	寄贈
2	民具	宝船図（288枚）	1	寄贈
3	陶芸	四代赤沢露石（正中）「交趾喰籠」ほか	4	寄贈
4	陶芸	林康夫「声」ほか	13	寄贈
5	漆芸	伊藤裕司「額田女王」ほか	4	寄贈
6	考古	土器・瓦考古遺物類（京都市立北白川小学校旧蔵品）	1	寄贈
7	日本画	洛中洛外図屏風（六曲一双）ほか	3	寄贈
8	歴史	脇差（美全国住長船裕定／永禄六年二月吉日）	1	寄贈
9	日本画	気象図 北小路竹窓筆（三幅対）	1	寄贈
10	日本画	西久松吉雄「神樹」ほか	3	寄贈
11	日本画	山水図屏風 円山応震筆（六曲一双）	1	寄贈
12	陶芸	島津製作所標本部撰定 陶磁器製造順序標本	1	寄贈
13	日本画	國府克「松涛」	1	寄贈
14	洋画	今井憲一「（貝）」ほか	7	寄贈
15	洋画	中野庸二「MIDORI TOKIDOKI (house)」	1	寄贈
合 計		15件 54点		

1.2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

(1) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書(紙媒体のみ)のうち、保存期限が経過した有期限保存文書約3,500点の学術研究資料としての価値について調査しました。

1.3 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」（京都府立庁前年（慶応3年）から昭和21年度までの15,407点）について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正・昭和期の資料2点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手を行いました。

14 図書館実習・インターンシップ

(1) 図書館実習

同志社大学学生 令和5年8月22日～8月25日（4日間） 1人

令和5年8月29日～9月1日（4日間） 1人

(2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

15 新聞掲載等

年月日	新聞名等	見出し
令和5年 5月4日(木)	京都新聞	どうして家康伏見の印象薄い？
令和5年 5月16日(火)	朝日新聞 夕刊	私のイチオシコレクション 京都府立京都学・歴彩館 情報満載 鳥の目でパノラマ
令和5年 8月24日(木)	産経新聞	やっぱりカニ？それとも…独創的デザインの鬼瓦、京都で展示 中
令和5年 10月17日(火)	京都新聞	下鴨の文化的歴史知って ガイドツアーや展示多彩に 映画撮影所／画家／学者「郷土愛につなげたい」
令和5年 11月1日(水)	京都新聞	近衛家熙 ゆかり 茶道具など解説 左京で26日講座
令和5年 11月7日(火)	産経新聞	地域ニュース 日本の歴史文化研究支援 京都学・歴彩館 海外若手2人受け入れ
令和5年 12月2日(土)	京都新聞	陽明文庫で知る公家 歴彩館で講座 近衛家伝世品調査から
令和5年 12月4日(月)	京都新聞	認知度低い徳川と伏見に光
令和5年 12月14日(木)	京都新聞	中井家文書 どう生かす 左京 京都御所・二条城造った「近世ゼネコン」 専門家ら デジタル化など対談
令和6年 1月23日(火)	京都新聞 夕刊	錦の御旗 製作秘話原本？ 戊辰戦争で新政府軍掲げ 左京 歴彩館で現存確認 「維新研究の1次史料」
令和6年 1月27日(土)	京都新聞	史実・創作の道真語る 左京 直木賞作家・学者ら講演

令和6年 1月31日(水)	京都新聞	家康は「京都嫌い」だった？ 二条城に寄らず、拠点とした「伏見幕府」とは
令和6年 2月2日(金)	京都新聞	中世文書 読み方学んで 左京で企画展 東寺百合文書など 展示
令和6年 2月7日(水)	京都新聞	東寺の僧侶 マツタケ好き？ 左京で海外研究者ら 室町期の宴会事情語る
令和6年 3月10日(日)	京都新聞	川端通沿いにはないのになぜ川端署
令和6年 3月12日(火)	京都新聞	京阪電車、駅名の謎 京都市東山区の十条通に接するのになぜこの駅名？
令和6年 3月20日(水)	京都新聞	故 西山卯三寄贈展 歴彩館 まちづくりの足跡
令和6年 3月23日(土)	京都新聞	伏見宿・淀宿、発展の歴史

16 ウェブ提供サービスのまとめ

コンテンツ			統計項目	
ホームページ（京都府）			閲覧数（トップページ）	93,362
			閲覧数（全ページ）	163,156
ホームページ（指定管理者）			閲覧数（トップページ）	83,403
			閲覧数（全ページ）	316,414
京都府立京都学・歴彩館デジタルアーカイブ			閲覧数（トップページ）	62,549
			閲覧数（全ページ）	577,272
			書誌アクセス数	132,636
			画像ダウンロード数	77,738
古文書	資料群	提供件数	1,211	
		新規登録件数	0	
	目録	提供件数	140,157	
		うち提供画像数	22,843	
		新規登録件数	0	
		新規登録画像数	23	
行政文書 （国立公文書 館デジタルア	簿冊	提供件数	90,559	
		新規登録件数	1,444	
	件名	提供件数	634,660	

	一カブへも 連携)		うち提供画像数	88,011
			新規登録件数	6,135
			新規登録画像数	0
	写真資料	資料群	提供件数	14
			新規登録件数	0
		目録	提供件数	132,084
			うち提供画像数	69,447
			新規登録件数	0
			新規登録画像数	0
	近代文学資料		提供件数	3,641
			提供画像数	0
	古典籍・図書		提供タイトル数	3,702
			うち提供画像数	588,334
			新規登録タイトル数	405
			新規登録画像数	25,892
	行政文書寺院関連情報		提供件数	7,997
	京都雑誌記事 論文等	雑誌記事	提供件数	80,536
			新規登録件数	0
		京都府関係パ ンフレット	提供件数	3,131
			新規登録件数	191
		映像資料等	提供件数	117
			新規登録件数	62
	京都府百年の年表		提供件数	20,645
	京都府公報目次		提供件数	60,355
			新規登録件数	11
東寺百合文書 WEB			閲覧数（トップページ）*1	192,366
*1 商業サイトのクローラによるアクセスと思われるものを除く。			閲覧数（全ページ）	670,613
			提供画像数*2	81,128
*2 昨年とはデータのとり方が異なる。			新規登録画像数	0
3 館合同蔵書検索システム (京都府図書館総合目録ネットワークへも連携)			閲覧数（トップページ）	188,009
			閲覧数（全ページ）	1,581,025
			検索数	329,364
			詳細書誌閲覧数	810,937
京都学・歴彩館所蔵 (国立国会図書館サーチへも連携)			提供タイトル数	280,756
			新規登録タイトル数	3,945

CiNiiBooks		提供タイトル数	13,759
(国立情報学研究所との連携)		新規登録タイトル数	4,397
国書データベース(国文学研究資料館との連携)		提供タイトル数	528
		提供画像数	112,886
		新規登録タイトル数	266
		新規登録画像数	47,326
国立国会図書館 レファレンス協 同データベース	レファレンス事例	登録事例数	712
		うち新規登録事例数	55
		事例アクセス数	201,617
	調べ方マニュアル	登録事例数	8
		うち新規登録事例数	0
		事例アクセス数	4,218
X (旧 Twitter)	全体	新規投稿数	308
		インプレッション	1,204,332
		エンゲージ	51,663
		エンゲージ率	4.3%
	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・解説 など)	新規投稿数	52
		インプレッション	231,090
		エンゲージ	10,870
		エンゲージ率	4.7%
	POP を使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	43
		インプレッション	66,757
		エンゲージ	1,671
		エンゲージ率	2.5%
Facebook	全体	新規投稿数	290
		インプレッション	46,277
		エンゲージ	4,931
		エンゲージ率	10.7%
	京都あれこれ (京都に関する資料の紹介・解説 など)	新規投稿数	52
		インプレッション	11,017
		エンゲージ	1,671
		エンゲージ率	15.2%
	POP を使った所蔵資料の紹介	新規投稿数	43
		インプレッション	6,022
		エンゲージ	579

		エンゲージ率	9.6%
--	--	--------	------

令和5年4月1日～令和6年3月31日

* 統計項目の語句について

・インプレッション	投稿がユーザーの画面（タイムライン）に表示された回数
・エンゲージ	投稿に対して何かしらの反応（「いいね」や「RT（リツイート）」など）を示した回数
・エンゲージ率	$\text{エンゲージ数} \div \text{インプレッション数} \times 100$

17 施設の状況

○令和6年4月1日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積	116,932.79 m ²		
建物面積	6,716.04 m ²	延	23,940.68 m ²
建設費	約100億円		
構造	鉄骨造	地上4階	地下2階

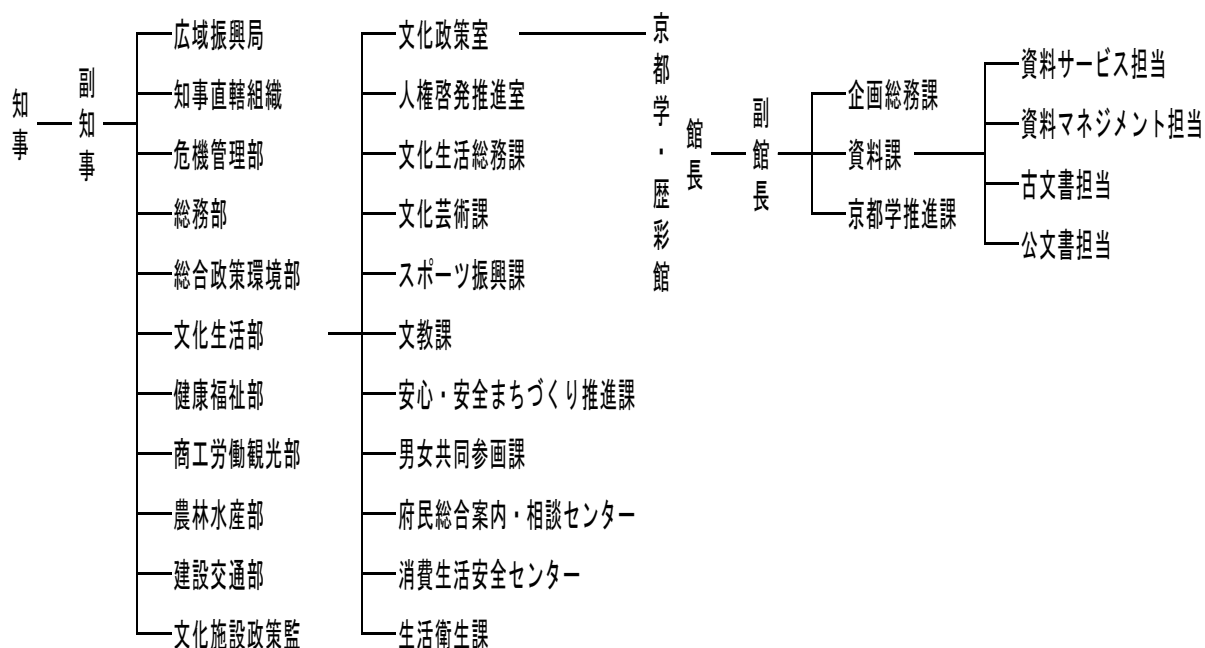
主要室の規模

1階	2階	地下1階	地下2階
学習室 160 m ²	図書閲覧室 1,259 m ²	書庫・収蔵庫 3,447 m ²	書庫・収蔵庫 3,517 m ²
展示室 290 m ²	(開架書庫含)		
大ホール 511 m ²	府大閲覧室 2,012 m ²	撮影室 73 m ²	
小ホール 199 m ²	(書庫含)		
京都学ラウンジ 151 m ²			
京都学研究室 142 m ²			
府大書庫等 177 m ²			

18 組織・職員数・業務分担・予算

(1) 組織

○令和6年4月1日現在



(2) 職員数

○令和6年4月1日現在（京都学・歴彩館）

	職 員（再任用を含む）	会計年度任用職員等
館 長	－	1
顧 問	－	1
副館長	2	－
企画総務課	4(※)	2
資料課	24	14
京都学推進課	4(※)	3
計	34	21

(※)副館長は、それぞれ企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であるが、再掲していない。

(3) 業務分担

ア 企画総務課

- 1 館運営等に関すること。
- 2 館発信事業の推進等に関すること。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関すること。
- 4 連絡調整に関すること。
- 5 予算、決算及び会計事務に関すること。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関すること。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関すること。
- 8 （公財）京都文化財団への業務委託等に関すること。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さないこと。
- 10 保安業務に関すること。

イ 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収集並びに整理・保存に関すること。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関すること。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関すること。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関すること。

ウ 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。

- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 研究成果の発信及び交流事業に関すること。
- 8 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況 (令和6年度当初予算)

(単位：千円)

区 分		予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)		24,900	一般管理運営に要する経費
京都学・歴彩館資料保存活用事業費		62,899	
	重要文化財京都府行政文書修理事業費	(4,015)	京都府行政文書の修理・補修費用
	京都学・歴彩館展示室運営事業費	(2,961)	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
	文化資料業務委託事業費	(55,923)	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
京都学・歴彩館統合情報システム運営費		34,199	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの運用
国際京都学活動推進事業費		9,482	京都の歴史、文化に関するセミナー、講座を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
計		131,480	

19 令和5年度の主な活動

5. 4. 11 資料に親しむ会「歌川広重が描いた京都」
5. 4. 15 令和5年度春季企画展「THE京都学―集める・のこす・伝える」開催 (～6.11)
5. 4. 20 京都古書籍商業協同組合見学受入
5. 4. 27 鳥取県見学受入
5. 5. 8 開館時間制限を解除
5. 5. 9 資料に親しむ会「歴彩館のデータベース」
5. 5. 11 2階閲覧室利用状況調査 (～5.17、11.9～11.15)
5. 5. 20 京都女子大学見学受入
5. 5. 23 京都を学ぶセミナー「宇治編」第1回開催
5. 5. 27 京都先端科学大学見学受入
5. 6. 4 大阪教育大学教育学部教員養成課程見学受入

- 5. 6. 9 国立公文書館長会議出席
- 5. 6. 13 資料に親しむ会「総選挙今昔物語～大正・昭和時代の館内資料から～」
- 5. 6. 15 図書館司書専門講座派遣（～6/28）
- 5. 6. 24 京都橘大学見学受入
- 5. 6. 26 大谷大学文学部歴史学科「文化財調査演習 1」受入
- 5. 6. 27 京都を学ぶセミナー「宇治編」第2回開催
- 5. 6. 30 京都府立大学見学受入
- 5. 7. 7 京都女子大学見学受入
- 5. 7. 11 資料に親しむ会「明治・大正期の京都府会会議録」
- 5. 7. 11 日本古典籍講習会派遣（～7/14）
- 5. 7. 15 「令和5年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会一府内まるごと博物館
大集合！－新時代の京都展－New World－」開催（～9.10）
- 5. 7. 19 同志社高等学校見学受入
- 5. 7. 25 京都府立大学授業対応
- 5. 8. 2 寺子屋講座「歴彩館でボードゲームを楽しもう！」「浮世絵のペーパークラ
フトをつくろう！」（8.8）
- 5. 8. 3 京都府立大学国際京都学夏期セミナー見学受入
- 5. 8. 15 台風7号接近による大雨暴風警報発令により臨時休館（～8.16 13:00）
- 5. 8. 22 図書館実習生受入（同志社大学）（～8.25、8.29～9.1）
- 5. 8. 29 京都を学ぶセミナー「宇治編」第3回開催
- 5. 9. 5 資料に親しむ会「古天文学と『明月記』の記録」
- 5. 9. 6 日本名作映画上映会開催
- 5. 9. 11 蔵書整理期間のため2階休館（～9.15）
- 5. 9. 20 京都を学ぶセミナー「宇治編」第4回開催
- 5. 9. 「丹後の文化資源」共同研究会の報告書作成
- 5. 10. 3 滋賀県立米原高等学校1年歴史コース見学受入
- 5. 10. 10 資料に親しむ会「慶応4年の目安箱－御一新と民衆の声－」
- 5. 10. 11 図書館・読書施設等職員レファレンス研修（中級）開催
- 5. 10. 13 西山文庫資料寄贈
- 5. 10. 16 京都府立大学文学部欧米言語文化学科ガイダンス・閲覧受入
- 5. 10. 23 丹後地方教育委員会連合会視察研修受入
- 5. 10. 25 京都を学ぶセミナー「宇治編」第5回開催
- 5. 11. 7 社会・労働関係資料センター連絡協議会見学
- 5. 11. 11 下鴨小学校所蔵美術品展開催（～12.10）
- 5. 11. 14 資料に親しむ会「天神さまと西京神人（にしのきょうじにん）－川井家の旧蔵
資料から－」

- 5. 11. 17 京都女子大学文学部見学受入
- 5. 11. 20 十二大都道府県監査委員事務局長会議見学受入
- 5. 11. 22 国立国会図書館令和5年度職員基礎研修（第Ⅱ期）見学受入
- 5. 11. 25 講演会「近世俳諧の玉手箱」で利用ガイダンス及び資料閲覧協力
- 5. 11. 26 陽明文庫講座開催
- 5. 11. 29 京都を学ぶセミナー「宇治編」第6回開催
- 5. 11. 30 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国（東京）大会出席（～12.1）
- 5. 11. 30 国文学研究資料館見学受入
- 5. 12. 6 日本名作映画上映会開催
- 5. 12. 9 第4回 国際研究集会「御所(宮殿)・邸宅造営関係資料の地脈と新天地」開催
- 5. 12. 10 立命館大学見学受入
- 5. 12. 12 資料に親しむ会「京都市動物園のはじまり」
- 5. 12. 16 展示「第六回府大生∞歴彩館コラボで探る京都学」開催（～6.1.7）
- 6. 1. 9 資料に親しむ会「雨・雪にみる京都の風景版画」
- 6. 1. 11 京都ノートルダム女子大学見学受入
- 6. 1. 13 冬季特別展「東寺百合文書で古文書解読！鎌倉・室町・戦国時代～中世文書、はじめの一步」開催（～3.10）
- 6. 1. 19 京都府立大学授業対応
- 6. 1. 20 京都精華大学見学受入
- 6. 1. 20 和漢書勉強会（堺市）見学受入
- 6. 1. 23 六府県監査委員協議会見学受入
- 6. 1. 25 海外若手研究員による府民向けセミナー開催
- 6. 2. 2 京都府立大学見学受入
- 6. 2. 3 冬季特別展開連講演会
- 6. 2. 13 資料に親しむ会「南蛮菓子のパン食文化」
- 6. 2. 29 内閣府見学受入
- 6. 3. 12 資料に親しむ会「立花の名手 大住院以信」
- 6. 3. 12 福岡大学見学受入
- 6. 3. 14 『京都学・歴彩館紀要』第7号 刊行
- 6. 3. 16 展示「西山外三と昭和のすまい・まちづくり展」開催（～4.7）
- 6. 3. 25 『京都を学ぶ【丹後編】』刊行

20 沿革

【(旧)総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都府立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙る。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3 部 9 課）
39. 11. 14 「京都府立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都府開庁 100 年を記念して京都府百年史を編さんすることとなり、事業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都府百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1 室 9 課）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の 3 部 1 室 5 課）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2 階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建 延 274.76 m²）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊

- 47. 6. 1 京都府百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、当館に移管されることになった京都府庁文書を中心に関係資料を収集・整理するため、資料部に行政文書課を設置（3部6課）
- 48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延1702.18㎡）
- 48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48. 11. 15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48. 12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
- 49. 4 有形民俗資料調査を開始
- 49. 8 教科書を収集
- 51. 1 「京の百景」を受入れ
- 51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
- 51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
- 52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 52. 4 古文書の公開を開始
- 52. 1 古文書所在情報調査を開始
- 53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
- 55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
- 55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
- 55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
- 56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
- 56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
- 56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
- 57. 4 古文書センター推進事業に着手
- 57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
- 58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
- 58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
- 58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58. 10. 14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
- 59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
- 59. 4. 14 「革嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
- 60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書の複写受付業務を開始

61. 7. 1	国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12	「古文書相談」を開始
63. 3. 29	美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
63. 4. 14	ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18	文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係） 美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30	京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止 「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1	京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置
平成元. 4	貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始 廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
元. 10. 20	第 1 回「文化講座」を開催
2. 10. 8	古文書のマイクロフィルム公開を開始
3. 5	明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
4. 4. 1	日本図書館協会に再加入
4. 7. 1	京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
5. 4. 1	定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
5. 5. 20	全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
5. 11. 7	開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
6. 6. 4	「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
9. 4	京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
9. 6. 30	「東寺百合文書」が国宝に指定される
10. 3. 31	「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
10. 12	閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
11. 4	京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
12. 4	京都府 20 世紀資料整理事業を開始
12. 9. 30	「特別資料室」を閉鎖
12. 10. 1	京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
12. 12. 28	文書閲覧室を含め全館休館
13. 3. 23	「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される

- 13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
- 13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
- 13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
- 14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
- 14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
- 14. 7. 19 ホームページを開設
- 14. 11. 26 「古文書解説講座」を開始
- 14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
- 15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
- 15. 11. 15 開館40周年を迎える
- 16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
- 16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース－京都北山アーカイブズ－」の公開開始
- 19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
- 21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
- 21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
- 21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
- 21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
- 21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
- 21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
- 21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」
～11. 26 を開催
- 22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
- 23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
- 23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
- 23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
- 23. 11. 16 新資料館設計協議結果展
～22
- 24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
- 24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始
- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定

- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 8. 1 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究の開始
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 1. 27 「京都を学ぶセミナー」を開始
- 29. 2 公益財団法人 陽明文庫所蔵資料のデジタル画像の収集及び館内公開に関する覚書締結
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
陽明文庫デジタル画像閲覧を開始
- 29. 7～ 海外若手研究員に係る世界の主要な日本文化研究機関との連携及び覚書締結開始（平 29 年度中に計 7（海外 4・国内 3）機関と締結）
- 29. 7. 6 「京都学ラウンジミニ講座」を開始
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への京都府立大学文学部移転
- 29. 12. 6 「古文書ヨル学会―入門編―」を開始
- 29. 12. 12 「資料に親しむ会」を開始
- 30. 1. 9 海外若手研究員 受入開始
- 30. 2. 16 「海外若手研究員による府民向けセミナー」を開始

- 30. 5. 25 「京都の出版社に聞く」を開始
- 30. 10. 1 京都学ラウンジ倶楽部の発足
- 30. 11. 10 「陽明文庫講座」を開始
- 30. 12. 4 独立行政法人国際交流基金京都支部と共催の日本名作映画上映会を開始
- 31. 3. 23 京都府文化賞受賞記念の公演等開始
- 31. 4. 1 人間文化研究機構総合地球環境学研究所との学術交流・協力に関する基本協定書の締結
- 令和元. 6. 1 府民協働連続講座開始
 - 2. 4. 1 一部指定管理者制度を導入
 - 2. 4. 1 北山プロムナード供用開始
 - 2. 8. 24 文部科学大臣から科学研究費補助金取扱規程第 2 条に規定する研究機関として指定される【登録機関の名称：京都府立京都学・歴彩館（京都学推進課）】
 - 3. 1. 1 国立公文書館による認証アーキビスト制度創設により、職員 4 名が認証を受ける。
 - 3. 5. 13 賀茂別雷神社所蔵資料のデジタル画像公開の覚書締結
 - 4. 4. 1 ほっとスペース リニューアルオープン

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（令和6年3月31日現在）

No.	種 別	資 料 名	点数等	概 要
1	国宝 (平9. 6. 30 指定) ユネスコ 「世界の記憶」 (平27. 10. 10 登録)	東寺百合文書	※ 18, 646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1, 000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
2	重要文化財 (昭56. 6. 9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14. 6. 26 指定)	京都府行政文書	15, 407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15. 5. 29 指定)	革嶋家文書	2, 459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43. 4. 25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1 点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59. 4. 14 指定)	袈裟襷文銅鐸	4 口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21. 3. 24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18, 705点のうち、国宝が18, 646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。

京都府立京都学・歴彩館資料収集方針

令和2年4月1日

京都に関する資料等を収集し、保存し、及び公開することにより、京都における文化の発展及び学術の振興に資するため、以下の収集方針を定める。

収集した資料は、適切な保存環境のもとで永年保存し、後世に伝える。また、収集した資料を利用に供し、デジタル化をはじめとする媒体変換等の手段を講じる。

なお、行政文書の移管又は引渡しなどは、別の規程等による。

I 図書資料等収集方針

1 基本方針

京都に関する専門図書館機能を十分に発揮するために必要な資料を収集する。資料の収集は、購入及び寄贈等による。非市販資料も対象とする。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

① 京都に関する資料

ア 現在の京都府の行政区域内に関する内容を含む資料を網羅的に収集する。

イ 「京都府文書の保管、保存等に関する規程」に基づき当館に送付される資料をはじめとする京都府が発行する資料を収集する。

ウ 京都府内の自治体が発行する資料を収集する。

エ 京都府内の団体や個人が発行する資料について、収集に努める。

② 京都に関する調査研究に必要な資料

ア 京都の位置づけを理解するために必要な資料を収集する。

イ 所蔵する図書資料・古典籍・古文書・公文書等について理解するために必要な資料及び館の運営に必要な資料を選択的に収集する。

ウ 古典籍は、資料の来歴も考慮して選択的に収集する。

エ 収集にあたっては、京都府立大学附属図書館及び京都府立図書館蔵書に留意する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

ア 図書

イ 雑誌・新聞及びフリーペーパー

ウ 近世以前の古典籍、漢籍等の古書

エ その他必要な資料

II 古文書収集方針

1 基本方針

地域の記憶となる京都に関する歴史資料を収集する。原本の受入は寄附・購入を基本とする。寄託は原則受けない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 幕府・藩・公家・寺社等の領主、大庄屋等の文書、仲々間（同業組合）文書、組合・会社文書等、広範な地域・組織に関わる文書を収集する。

イ 町文書・村文書など市町村が収集した方が適当と思われる資料は市町村と調整する。

ウ 個人的な資料（私的書状・書類・日記等）は基本的に収集対象としないが、京都の歴史に関わると評価できる場合は収集する。

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

原本の受入だけでなく、複製物（画像・写真等）での収集を行う。

III 写真資料等収集方針

1 基本方針

京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料を収集する。芸術性を追求した作家の作品は収集しない。

2 収集資料の範囲と種類

(1) 収集する資料の範囲は、次のとおりとする。

ア 京都の社寺・名所・祭礼・風俗・街並み・建物・風景・人物・事件等を撮影したもので、京都の歴史・文化・社会を明らかにする上で記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

イ 日本の歴史的な風景・資料等で特に記録性が高く歴史的価値を有すると認められる写真・映像資料

(2) 収集する資料の種類は、次のとおりとする。

希少性が高いガラス乾板を中心として収集する。

業 務 概 要

－令和５年度のまとめ－

発 行 日 令和６年８月

編集・発行 京都府立京都学・歴彩館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-29

電 話 075-723-4831

F A X 075-791-9466

H P <http://www.pref.kyoto.jp/rekisaikan/index.html>

E-mail rekisaikan-kikaku@pref.kyoto.lg.jp